

2013年度 年 報
—自己点検・評価報告書—

天使大学 看護栄養学部
天使大学大学院看護栄養学研究科

はじめに

本学は、建学の精神「愛を通して真理へ」を掲げ、看護師・保健師、管理栄養士、助産師を育成するカトリック大学として、専門的知識・技術の習得はもちろん、それに与る専門職としての人間性を涵養することを目指しております。本学の教学組織に関する主な活動は、委員会活動を中心に行い、その時代・情勢の要請に基づく迅速かつ柔軟な取り組みを「学長直轄プロジェクト」として展開しております。

教学のさらなる発展に向けて自己点検評価委員会を中心に、各委員会の活動点検評価を行っておりますが、継続的な活動の改善のためには plan 計画—do 実行—check 評価—act 改善からなる PDCA サイクルが必要と考えます。本年報は PDCA サイクルの「評価」の部分に当たり、計画を超えて達成できた点、計画通りに進まなかった点、などを評価し、それを次のサイクルへと繋げ、らせん状に活動の改善がなされることを期待するというものであります。真摯に自らの活動を省み、改善に繋げていきたいと思っておりますが、常に自らを省みすることはカトリック精神の内省性にも通じるかと存じます。多様な委員会活動等が本学の設置された目的、建学の精神に則って展開されているかをきちんと評価する必要があります。また、そのように展開されることを期待しております。

ここに、2013 年度年報をお届け申し上げます。学外関係者の皆様には、平素の本学の運営へのご理解、ご支援を深く感謝申し上げますと共に、本年報にお目を通し頂き、ご指摘、ご批判を頂きたく存じます。それによって、教職員一同さらに鋭意努力してまいりたいと願っております。ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

2014 年 6 月

天 使 大 学
学 長 武 藏 学

自己点検・評価報告書

目 次

I. 教育課程	1
1. 教務委員会	1
2. 看護学科	2
3. 栄養学科	3
4. 教養教育科	5
5. 看護栄養学研究科	6
II. 学生の受け入れ	7
III. 教員組織	9
IV. 研究活動・研究環境	10
V. F D活動等	12
VI. 社会貢献	13
VII. 学生生活	17
VIII. 就職支援	19
IX. 図書館	20
X. 情報処理システム	21
XI. 施設・設備	22
XII. 管理運営	23
XIII. 財務	24
XIV. 事務組織	25
XV. 自己点検・評価活動	26

I. 教育課程

1) 教育課程の運営

担 当： 教務委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護栄養学部教育の質保証に関すること 2. 学生の学習支援に伴う課題の検討 3. 学習環境の整備に関する課題の検討 4. 規程改正に関する検討
<p>活動内容の評価</p>	<p>委員会14回、臨時委員会10回開催した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教育の質保証に関する件 <ol style="list-style-type: none"> 1) 教育課程の展開に関する課題の共有 <ul style="list-style-type: none"> ・(栄) 学部生・編入学生授業科目配置が厳しい ・1～5講目まで科目が配置され予習復習時間の確保が困難 ・ゼミ室数の確保や学習環境の整備 2) 学生による授業評価の実施とその改善 <p>授業評価の結果を改善に活かす仕組み作りをした。評価結果は年度内に教員へ返却。記述データは、直接教員へ返却し改善に活かす。全質問項目から8項目を選びレーダーチャートで表示し、全学・学科平均値と比較できるようにした。</p> 3) 成績評価に関して <ul style="list-style-type: none"> ・学生からの成績に関する意見申し出件数が、1年次2科目3件 4年次3科目3件あり、臨時教務委員会で検討し各々対応した。意見申し出の改善策として、授業概要表記に基づく評価方法の実施について教員へ喚起した。 ・看護学科からの要請を受けて看護学科2013年度以降の2年次進級要件を見直し、進級要件改正を行った。 2. 学習支援に関すること <ul style="list-style-type: none"> ・学生に分かりやすい履修ガイダンスとして、学務担当の入学時オリと教員担当の親睦ゼミで実施していた内容の評価し、入学時オリで教員・学務が連携して行うこととした。 ・試験などに関するケアレスミスの予防 <p>2013年度は5件のアクシデント等があった。一部不適切な対応もあり、予防対策について検討した。予防のためアクシデント事例について教授会へ報告した。</p> 3. 学習環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・各教室のプロジェクター・貸出し用PCの整備、6101教室に操作卓を設置し学習環境の改善を図った。 4. 以下の規程改正を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・栄養学科の食品衛生管理者及び食品衛生監視員任用資格に関する規程改正 ・看3年次進級要件に教養教育科目の要件を加えること、栄養学科の進級要件に関する表記、看2年次の進級要件の改正
<p>次年度への課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現行カリキュラムの課題と改善 ・各学科・科の教育課程到達目標の測定によるカリキュラム改善 ・カリキュラム委員会の設置によるカリキュラムポリシー・ディプロマポリシーに基づく全学的カリキュラム検討とGPA制度の検討導入 ・成績評価に関する意見申し出に対する対応について ・学習環境の充実
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>1年看護学科の進級条件緩和に早急に対処した点は評価できます。次年度は、学生からの成績に関する意見申し出や試験などに関するケアレスミスの予防策実施に期待します。</p> <p>また、現行カリキュラムの課題と改善についても大学基準協会からの指摘を念頭に置き、2014年度も継続して検討してください。</p>

I. 教育課程
2) 看護学科

担当： 看護学科

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. カリキュラムの実施・充実：教育達成に向けた教育 2. 学生支援の促進と評価 3. 教員の教育研究能力の向上 4. 教育指導体制の充実
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. カリキュラムの実施、充実に向けての点検・円滑な運用・評価 <ol style="list-style-type: none"> 1) 2009年度入学生カリキュラム：4年生のレベル目標アンケート結果から <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度より4年次のレベル目標達成度得点は高かったが、選択科目の履修や学習環境について意見があった。 2) 2012年度カリキュラム：1・2年生のレベル目標アンケート結果から <ul style="list-style-type: none"> ・1年次は昨年度よりもレベル目標達成度は高かったが、科目が過密であること、専門基礎科目の進行等について意見があった。2年次はレベル目標達成度は全体的に低く、課題の重なりや科目進行についての意見が見られた。 ・1年次の科目設定が過密のため2年次への進級要件を検討し緩和を図った。 ・実践力強化・主体的な学習行動や判断力育成について、各領域での実施状況を年度末評価において共有した。2012カリキュラムの意図を実現するために、今後も各領域で工夫しながら継続して取組んでいくことを確認した。 2. 学生支援の促進と評価 <ul style="list-style-type: none"> ・少人数制学生支援体制を継続し1年7名、2年8名、3年4名、4年5名の支援体制を組み、各領域教員との連携を図りながら対応できたと考える。 ・学習支援プロジェクトによる看護師保健師国家試験に向けて到達度テスト実施、学習ガイダンス、低学年へも専門基礎科目の学習支援は、学習の動機付けにつながった。 3. 教員の教育研究能力の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・看護学科の文部科学省の科学研究費補助金獲得（研究代表者）は継続2件、新規1件、特別研究費の助成は2件であった。博士課程へは2名在籍、研修日申請は3件であったが、学科全体としては十分な支援体制ではなかった。 4. 教育指導体制の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・実習指導者との連携のために、2012カリキュラムの概要説明と研修会を行った。参加者は実習指導者・実習指導教員・学内教員合わせて75名で、基調講義受講とグループワークによる意見交換から課題を共有し今後の指導を考える機会となった。 ・2013年度は定員33名中28名の教員が在籍し欠員が5名であったことから、教育指導体制上、必要十分な教員の確保ができなかった。 5. 卒業生の状況：在籍95名、卒業90名、留年5名であった。国家試験合格率は看護師96.7%、保健師93.2%であった。
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. カリキュラムの実施・充実：2012カリキュラムの点検評価と課題抽出・改善に向けた検討、学部カリキュラム検討グループを設置する。 2. 学生支援活動の充実：学生支援教員と当該領域教員との連携を継続する。 3. 教員の教育研究能力の充実：学生の実践力強化・主体的な学習行動・判断力育成のための教育能力の向上を図る。研究資金獲得や研修日の確保への各領域での体制作り。 4. 教育指導体制の充実：年度早期に欠員補充、実働教員を確保する。
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>1年次のカリキュラムが過密であるとの学生の意見が、2012年度に続いて出されている点について、具体的対応を検討する必要があると考えられます。教員の欠員にともない、教育指導体制が不十分とする評価も続いており、教員確保は急務であると考えます。</p>

I. 教育課程
3) 栄養学科

担当： 栄養学科

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 正課教育、正課外教育（修養会等行事を通した理念教育）の内容、指導体制の充実 2. 就職支援対策 3. 地域連携、研究活動の推進 4. 重点事業の実施 ①管理栄養士国家試験対策講座及び模擬試験 ②臨地実習施設担当者研修会・意見交換会 ③コープさっぽろ等受託事業 ④天使健康栄養クリニック</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 正課教育、正課外教育（修養会等行事を通した理念教育）の内容、指導体制の充実 ①専門教育科目について：管理栄養士国家試験ガイドライン等に基づく教育内容の充実に向けた検討は同一科目内に止まり、学科全体での実施を実現できなかった。また、学生による授業評価の活用も個人に委ねられ、学科の取組には至らなかった。一方、編入学生(5名)の履修指導、卒業研究履修者の増加への対応は、支援教員、卒研担当教員を中心として達成できた。 ②臨地実習について：実習担当教員を中心として学科全体の協力により、臨地実習を行うことができたが、実習施設指導者との意見交換に関わる研修会（重点事業②）では、実習生に関する情報不足が指摘された実習先もあり、今後、さらなる連携強化を図る必要がある。 2. 就職支援対策 学科と就職委員会との連携を強化し、就職委員、支援教員による指導体制の充実を図ったが、例年以上に就職決定率が上昇するという成果は認められなかった。とくに教職課程委員、就職委員、支援教員の先生を中心に、自治体栄養職員や栄養教諭採用試験の支援・対策に当たったが、昨年に比べて合格者が大きく減少した。 3. 地域連携、研究活動の推進 学科内外の企業や団体などとの連携、学外資金を数件獲得することができた。 4. 重点事業の実施 ①管理栄養士国家試験対策講座及び模擬試験：ほぼ例年通りの計画で国家試験対策を実施したが、対策講義への出席率の低下、模擬試験の成績が伸びない点などが課題となった。 ②臨地実習施設担当者研修会・意見交換会：上記1の②にもあるとおり、率直な意見交換ができた。研修会の内容は、高評価であった。 ③コープさっぽろ等受託事業：とくにコープさっぽろ受託事業には学生の積極的な参加もあり、学生教育、本学の社会・地域貢献の一環として成果があった。 ④天使健康栄養クリニック：栄養学科全体で実施する体制が整い、さらなる成果の蓄積を図ることができた。</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>1. 教育課程及び授業評価の活用に関する学科全体での検討 2. 臨地実習の充実と実習先との更なる連携強化 3. 国家試験受験支援方策の再検討 4. 就職支援方策の再検討</p>
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>重点事業や編入学生への対応については、意欲的に取り組んでいる点を評価します。 就職については、就職委員会との連携により継続的な検討を期待します。</p>

I. 教育課程

3) 栄養学科－教職課程

担 当： 教職課程委員会 _____

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新規授業科目「教職実践演習」の開設・実施 2. 教員採用試験の受験支援の強化 3. 外部との連携による教育の充実 4. 個別面談による支援強化
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 昨年度策定した実施計画・シラバスにもとづいて「教職実践演習」の授業を実施した。本授業は、教職課程履修者を教育実践の仕事へと導入する締めくくりの授業として位置づけられるものであるが、内容的には妥当であったと評価でき、目標を達成した。ただし、教職にはつかない学生の学習意欲に関して、課題が残された。 2. 平成 26 年度北海道・札幌市教員採用試験の受験支援を、外部講師を含めて行った。その結果、在学生 2 名、卒業生 1 名が登録となった。昨年度は登録者 7 名と大幅増があったが、今年度は従来水準に戻ってしまった。 3. 外部との連携による教育の充実については、以下の二つを実施した。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 農場実習と調理実習：1 年生を対象に、北海道大学農学部農場において、田植え、稲刈り等の農場実習、および収穫野菜の調理実習を実施した。また、それを通してレシピ集作成も行った。参加学生にはきわめて有意義であったと評価され、目標を達成した。 2) 学校インターンシップ：2 年生を対象に、札幌市立美香保小学校および新琴似小学校において、本学夏休み期間中に実施、15 名が参加した。報告書集の作成も行った。参加学生にはきわめて有意義であったと評価され、目標を達成した。 4. 個別面談では、個々の学生の進捗や悩みを知り、アドバイスすることができ、成果が得られ、目標を達成した。
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「教育実践演習」については、教職にはつかない学生の学習意欲をどう向上させるかを検討、改善策を策定する必要がある。 2. 教員採用試験の受験支援については、より効果的な支援を策定する必要がある。
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>外部との連携による教育の充実については成果が見られたことを評価します。教職にはつかない学生への指導ならびに教員採用試験対策については、継続的な検討を期待します。</p>

I. 教育課程
4) 教養教育科

担 当： 教養教育科

<p>本年度の活動目標</p>	<p>初年次教育の観点から見た教養教育の充実を推進する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 前年度に引き続き、英語プレイスメントテスト及び英語到達度試験を G-TELP (Level 4) 用いて実施し、学習効果を測定する。 基礎学修演習における講義内容とそれに基づく演習内容のグループ間の差異を無くして効果を上げる。 入学前教育（生物・化学の復習）から初年次教育（診断テストとそれに基づく履修指導および専門基礎科目と連携）への橋渡しを強化する。
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 英語教育の検証（教授会報告済） <ol style="list-style-type: none"> 前年度に引き続き 1 年生に対して到達度試験を前期末、後期末にそれぞれ 1 回ずつ実施し、学習到達度評価を行った。結果は前年度同様、前期末に中級クラス・基礎クラスで平均点の上昇が見られたが、習熟クラスでは見られなかった。 基礎学修演習の充実（学生による授業評価アンケート 参照） <ol style="list-style-type: none"> 学生に合った独自の配布資料を作成して充実を図った。しかし、講義担当者と他の教員間の調整不足があった。 グループ間格差是正のため担当者を固定しない方法をとる予定であったが、学生指導の一貫性が担保できない理由から 1 グループ 2 名体制に変えた。レポートテーマの変更、提出前の事前指導により、学生の動機を高められた上、前年度より学生は形式の整ったレポートを書けるようになった。 改善は評価できるが、本科目の学生による授業アンケート結果が教養教育科および大学全体平均より全般に低いため評価できない。 カリキュラム見直し—高等学校学習指導要領（理科）前倒し実施に対応 2015 年度入学学生より学習内容が変わってくる。これに対応するため、「化学」を必修化し、それに付随する部分的カリキュラム変更した。現状に変化にいち早く対応した点は評価できる。 入学前教育（専門基礎科目としての生物学・化学）の担当 業務を引き継ぎ、滞りなく実施した点は評価できる。しかし、入学前教育から、初年次教育、そして専門科目への連携ができていない点が、今後の課題として挙げられる。
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 英語プレイスメントテストと英語到達度試験で使用している G-TELP (Level 4) の難易度が低いために、成績上位者の学習効果が適切に測定されていない可能性があり、Level 4 から Level 3 にテストレベルを上げて再度検証する。 基礎学修演習の充実—グループ間の格差是正と標準化を促進し、検証する。 高等学校の指導要領の改訂に伴う部分的カリキュラム実施に向けた準備をする。 入学前教育（専門基礎科目としての生物学・化学）と初年次教育および専門科目との連携をはかる。
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>プレイスメントテストの成績は、学習効果を適切に反映していないとする懸念が続いています。問題点と改善方策の検討が必要であると考えます。また入学前教育が、前年度は専門科目に連携できたと評価されましたが、今年度は連携できていないとの評価になっています。原因を分析し、改善することが望まれます。</p>

I. 教育課程

5) 看護栄養学研究科

担当： 看護栄養学研究科

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 2011年改正カリキュラムの円滑な運用とその評価 2. 長期履修制度利用入学生、社会人学生に対する履修支援 3. 収容定員に対する在籍学生比率の向上に向けての活動の強化 4. 大学院看護栄養学研究科の合同FDの継続実施 5. 本学の特色を活かした看護栄養学研究科としての研究活動の活性化 6. 特別研究単位の見直し（特別研究単位認定と論文作成、論文発表・審査について）
<p>活動内容の評価</p>	<p>2013年度は、本学として初めて、論文提出により2名が博士（栄養学）を取得した。また、博士前期課程修了生1名が修士（栄養学）を、看護学専攻修士課程修了生1名（ホスピス・緩和ケア看護学コース）が修士（看護学）を取得した。</p> <p>個々の活動目標に対する評価を次に示す。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. カリキュラム内容の適正実施のためにPDCAサイクルシステムを整えた。 シラバスに準備学習の時間と内容を明記することを要請するとともに、シラバスの記載内容に係る第三者評価体制を整え、2014年度履修要項から実施した。 2. 長期履修制度の円滑な運用により、長期履修者は、栄養管理学専攻では博士前期課程3名、看護学専攻2名となった。社会人に対する履修支援として、14条特例適用科目を適正に配置し、夜間・土曜開講等、社会人が学びやすい時間割を継続して実施した。 3. 在籍学生比率向上に向けて、以下の活動を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・学部生に対して大学院進学に対する意識づけのための説明会を実施した。また、天使祭において大学院相談コーナーを設置した。臨地実習指導者や卒業生に学校案内や大学院パンフレット、募集要項の配布を行った。 ・2014年度入試の結果、看護学専攻修士課程では成人看護学コース1名、公衆衛生看護学コース2名、栄養管理学専攻博士前期課程2名、博士後期課程1名の入学が確定した。収容定員に対する在籍学生比率は、両専攻とも前年度から増加した（資料43頁）。 4. 大学院看護栄養学研究科の合同FDを実施した。 両専攻合同開催のFD研修会は、昨年の量的研究のテーマに継続して、「質的研究の基本と実践～人と人とを結ぶ視点を得るために～」を実施し、研究意識の高揚に役立った。また、2回目は、「高度専門職業人養成のための大学院教育の課題」のテーマで実施した。2回とも大学院・学部教員、院生・卒業生等40名前後の参加を得た。 5. 看護学専攻・栄養管理学専攻の共同研究のひとつとして、本学修士課程修了生に共通するコンピテンシーの明確化の研究が、グループ研究として始動した。 6. 特別研究単位の見直しについては、他大学の情報を収集し、検討を継続している。 *看護学専攻の教育充実のために「成人看護学コース」を立ち上げた。
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 2016年度看護学専攻カリキュラム改正に向けた看護栄養学研究科としての検討 <ul style="list-style-type: none"> ・本学の特色を活かした看護栄養学研究科としての共通科目の検討 ・看護栄養学研究科カリキュラムワーキンググループの設置 2. 特別研究の単位を見直し、単位認定と論文審査に係る単位の配分を検討するとともに、長期履修生の履修期間に係る規程を見直す。 3. 看護学専攻では、大学院での保健師養成課程2016年度開設に向けての申請並びにホスピス緩和ケア看護学コースの専門看護師教育課程38単位申請に向けての準備を行う。 4. 栄養管理学専攻の隔年開講科目（全選択科目）について、毎年の開講を検討する。 5. 本学の特色を活かした共同研究の推進に向けて、意識の高揚、体制整備を図る。
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>2012年度に掲げた「次年度への課題」と「2013年度の活動目標」との間に一部齟齬が見受けられるが、新しい課題を取り入れて改善した点は評価できます。次年度以降の改善に期待します。</p>

II. 学生の受け入れ

担当： 広報委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本学 web サイトのリニューアルを機に、サイト内のページをブラッシュアップする。 2. 広報効果の最大化を図るため、広報戦略を立てる上でのデータを見直すとともに、分析力を強化する。 3. 本学の特徴を効果的に伝えるため、積極的に「動画」を活用する。 4. 栄養学科 3 年次編入学試験・大学院看護栄養学研究科の定員確保を目指す。 5. 「本学の特徴と直結したノベルティー」を充実させる。
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. web サイトリニューアルの主なコンセプトは「ユーザビリティ」を高めること、必要とする情報に視覚的・感覚的にたどり着けるようにすることであった。また、文章も全面的に見直し、「読みやすさ」と「受験者が求める情報」の両面を念頭に改稿した。また、リニューアルを機に facebook、twitter の本学公式ページを開設し、「学生の生き生きとしたキャンパスライフ」と「本学の空気感」をリアルタイムに伝えることで、本学への好感度アップ、ファンの拡大、高校生の困り込みを狙った。 2. 今年度からアクセスオンライン（資料請求者データの情報管理とそれらの情報を基にした統計資料の作成を行えるデータベースシステム）を導入し、情報管理の一元化、メールマガジンの送信、高校訪問記録の蓄積など、その機能を広報活動に存分に活かしている。資料請求等のデータを分析した結果、志願者に結びつく人数が一番多い広報活動は「オープンキャンパス」であった。また費用対効果の高い媒体としては「fromページの学生募集支援企画テレメール」、「校内ガイダンス」が傑出していた。 3. web サイトのリニューアルと同時に、You Tube の天使大学チャンネルを開設した。また web サイトの各所に You Tube の動画にリンクを貼ったバナーを設け、閲覧者の知りたい情報が、文章、写真だけでなく「映像」としてもわかりやすく伝わるよう工夫した。 4. 栄養学科 3 年次編入学試験学生募集のための広報活動として、3 年次編入学試験説明会、道内栄養士養成短期大学訪問、栄養士養成短期大学（関東以北）への資料送付等を行った。2014 年度栄養学科 3 年次編入学試験の入学者は定員に 2 名、満たなかった。 大学院看護栄養学研究科の学生募集のための広報活動は、教員による声かけ、病院、看護系・栄養系大学、保健所等 1,909 ヶ所への看護栄養学研究科パンフレットの送付、リスティング広告の掲出等を行った。今年度も定員を満たすことはできなかった。 5. 今年度、「天使大学オリジナル焼き菓子」の作成に着手した。その焼き菓子を「天使のクッキー」と命名し、「良質な原材料」と「北海道産」にこだわるとともに「おいしさ」も追求した。クッキーは 2014 年度からの活用を目標に完成予定である。また、2014 年 3 月に完成した「天使大学のレシピブック vol.2 学生から一人暮らしのあなたに贈る健康レシピ」は、2014 年度の 1 年間は道内書店で販売するほか、ノベルティーとしてオープンキャンパス等で配布する予定である。
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本学 Web サイトのリニューアルから 1 年を経て、入念な点検評価を行い、それに基づいたさらなる改善を図る。 2. 8 月の看護学科オープンキャンパスでは、昨年度参加人数（448 名、前年比+139 名）を考慮し「午前」・「午後」2 回に分催することを予定している。また、10 月のオープンキャンパスでは新企画として「学生トークライブ」を開催するなど、参加者の満足度を向上させるさらなる改善、コンテンツの充実を図る。 3. 大学案内パンフレット、大学院看護栄養学研究科パンフレットを、読者のニーズに応えるかたちでフルモデルチェンジする。また、大学案内パンフレットのプレゼンテーションを行い、2017～2021 年度大学案内パンフレットの制作委託業者を選定する。 4. 「天使大学オリジナル焼き菓子」を広報活動に有効に活用する。 5. 大学院看護栄養学研究科、栄養学科 3 年次編入学試験の定員確保に向けた、効果的な広報策を検討する。
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>Web サイトのリニューアルによる充実、動画等を積極的に活用した取り組みは評価できます。とくに大学院生、編入学生の定員確保が成果として得られていないので、社会情勢の分析を含め、より効果的な取り組みを期待します。</p>

II. 学生の受け入れ

担 当： 入 試 委 員 会

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 入試ミス防止に十分配慮するとともに、円滑で遺漏のない入学試験の実施・運営に万全を期する。 2. 新学習指導要領に対応した一般入学試験・センター利用入学試験の「理科・数学」の出題科目・範囲を早期に決定し、高校生等に周知する。 3. 本学の入学試験選抜制度（入試種別・定員等）の変更の必要性について抜本的かつ慎重に検討する。 4. 指定校推薦入学試験入学者の追跡調査方法、「指定校」枠の廃止・新規設置基準について検討する。
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 円滑で遺漏のない入学試験実施のため、監督者等によるアンケート結果等をもとに入試委員会で詳細におよぶ改善点を挙げ、その点について直ちに改善した。引き続き入学試験問題の出題ミス防止に努め、試験問題に関する支障・改善事項は特になかった。また、「web サイト上での合格発表」をより安心・確実に行うためのスキームについて抜本的な見直しを図り、万全を期した。さらに、昨年度入学試験でインフルエンザに罹患した受験者から問い合わせがあったことを受け、「インフルエンザに罹患した受験者への対応」を入試委員会でまとめ、学生募集要項・web サイトを通して受験者に周知した。 2. 「理科・数学」の新学習指導要領に対応した 2015 年度一般入学試験・センター利用入学試験の出題科目・範囲を決定した。またこの決定を、2013 年 5 月 17 日に本学 web サイトで公表したのを皮切りに、オープンキャンパス、進学相談会、高校訪問等を通して高校生、高校教員等に積極的に周知した。 3. 「本学のアドミッション・ポリシーに合致した学生」をしっかりと確保するためのよりよい入学試験制度のあり方について協議した。まずは入試種別、入試科目・配点、入学定員、志願者・合格者・入学者、難易度（偏差値）、入試日程、試験会場、受験料・学費等、さまざまな切り口で道内競合大学と本学を比較したデータをまとめ、委員間で現状を正確に把握・共有した。 4. 入試委員会として、特に指定校推薦入学者の現状（学業成績等）を確認し、学籍異動（留年、休学、退学）が生じた指定校推薦入学者の出身高等学校を入試委員・入試担当事務職員とで訪問した。その際、進路指導部長に対して指定校推薦入学者の現状の成績、留年・休学等の理由等を報告するとともに、「指定校推薦制度の趣旨」についてあらためて理解を求め、今後の指導に十分活かしていただくようお願いした。
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 引き続き適切な入学試験の実施・運営に万全を期する。また、次年度予定されている大学入試センター試験の試験場責任校として共同実施校と連携を図りながら遺漏なく試験を遂行する。 2. 新学習指導要領に対応した一般入学試験の円滑な問題の作成に努める。また、「理科・数学」の経過措置について高校生等に早期に周知する。 3. 「入学試験選抜制度の見直し」は、2013 年度に議論した方向性をふまえ、新たな入学試験選抜制度を立案し、公表に向けた準備を進める。
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>円滑に入学試験が実施できたことは評価します。新学習指導要領に対応した入試、入学試験選抜制度については継続的な検討を期待します。</p>

III 教員組織

担 当：自己点検評価委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大学基準協会の認証評価の「教育研究組織としての適切性」については教育の質保証の観点から、教育内容と教員の研究環境のあり方に配慮しながら定期的に検証する。 2. 教員組織については、将来的な課題に対応した教員組織を整備し、組織的な連携体制を構築するとともに全学的な取り組みの中で定員を確保する。
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「教育研究組織としての適切性」の検証について 大学基準協会の認証評価の「教育研究組織としての適切性」については教育の質保証の観点から、教育内容と教員の研究環境のあり方に配慮しながら定期的に検証する必要があるが、自己点検委員会や、毎年度の人事方針や具体的な人事配置の検討の中で教育研究組織としての適切性の検討を引き続き行う。 2. 教員組織について <ol style="list-style-type: none"> (1) 2014年度人事方針において、看護栄養学部の教員定数は67名以内、助産研究科は15名以内、嘱託教員数は2割程度とした。 看護栄養学部の教員定数67名の内訳については、看護学科33名、栄養学科27名、教養教育科7名である。 (2) 人員の確保については、看護学科教員の人材確保が極めて厳しい環境の中で、教員採用については全学的な取り組みを行っているところであり、2014年度当初において、看護学科で定数33名に対し5名の欠員となったが、2014年度当初では欠員を4名（うち学長1名、特任教授1名）となり、同様に栄養学科で定数27名に対し欠員1名となっている。 (3) 教員の採用方針については、建学の理念とともに教員の年齢構成に配慮しながら、専任教員と嘱託教員をバランスをとりながら採用する必要があり、現行の教員採用・昇任に係る規程の運用や手続きについて、引き続き検討する必要がある。 (4) 大学院の組織体制について、2016年度保健師コースの設置、CNSコースの増設、博士課程の設置等の検討をする必要がある。
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大学基準協会の認証評価の「教育研究組織としての適切性」については教育の質保証の観点から、教育内容と教員の研究環境のあり方に配慮しながら定期的に検証する。 2. 教員組織については、将来的な課題に対応した教員組織を整備し、組織的な連携体制を構築するとともに全学的な取り組みの中で定員を確保する。 3. 大学院の組織体制を検討する。
<p>自己点検評価委員会からの評価</p>	<p>定員確保のみならず教員組織・構成における現状の問題点、課題の分析、評価を具体的にを行い、教員構成の編成方針及びその根拠を明確にした組織的取り組みとその検証を課題として取り組む必要があります。また、点検評価項目を参考に教員の採用、昇任等の手続きの適切性の評価も行う必要があります。（自己点検評価委員会）</p> <p>教員組織については、教育内容と研究環境の在り方に配慮しつつ定期的に検証する。特に、大学院の充実に必要な教員組織について、大学院教育と学部教育を兼務する教員の教育負担、研究時間確保、教育研究費などの具体についても検討したいと考えます。（学長）</p>

IV. 研究活動・研究環境

担 当：学術振興委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 研究意欲の発揚と共同研究推進のために研究会の定例開催を行う。 2. 競争的外部資金導入のための情報を収集提供し、科研費申請件数の増加等を目指す。 3. 学術振興に関する「よろず相談」を実施し、研究環境整備、特に若手研究者の育成（助手の待遇改善など）の道を探る。 4. 紀要は年2回発行を継続。第14巻第1号、第2号を作製し、電子化・公開する。 5. 機関リポジトリに掲載する研究情報についての検討を行う。
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 研究意欲の発揚と共同研究推進のために下記研究会を開催した。学科間を越えた研究の取り組みは特別研究費で一部行われているが、全学挙げての取り組みが地域貢献などの観点から必要と思われる。 <ul style="list-style-type: none"> ・前期研究報告会の開催：2013年8月2日(金)13:00-15:30 出席：34名 紀要執筆者1名と新任教員4名の発表 ・後期研究報告会の開催：2014年3月20日(木)9:00-15:20 出席：43名 特別研究費取得者の発表：中間報告8件、最終報告4件(新規8件、継続4件) 2. 競争的外部資金導入のための情報収集と提供については、科研費説明会において過年度審査委員や採択者によるアドバイスを実施した。 また本学研究に資する目的で神戸大学大学院教授の大澤朗先生講演会を委員長の研究費で開催した。参加者は北大の方を含め18名ほどであった。 <ul style="list-style-type: none"> ・科研費説明会：2013年9月3日(火)17:00-18:30 出席：19名 ・大澤朗氏講演会：2013年7月11日(木)18:00～19:00 出席：18名 ・今年度科研費採択件数は継続4件、新規1件の5件であった。 ・次年度申請件数は14件である。受託研究及び事業は5件と激減した。 3. 研究環境整備に関しては、若手研究者の育成という観点から、助手の待遇改善について検討を行ったが、講座制のない本学においては難しい課題となっている。 教育・研究体制の抜本的な見直しが必要と思われる。 4. 大学院生を含む若手研究者の育成の意味も込めて、紀要の年2回発行を実施し、前期は3件、後期は11件の投稿を得た。 <ul style="list-style-type: none"> ・紀要の作製期間について、6か月では厳しいことから、次年度より9か月とし、4-12月で第1号を、7-3月で第2号が発刊できるよう変更することが了承され、投稿規程等を改正した。 5. 他大学の機関リポジトリを総覧し、10項目の収録コンテンツや規程を整備した。
<p>次年度への課題</p>	<p>1については学科間を越えた全学的研究活動の促進、2については申請件数増加のための努力、3については具体的方策の検討、4については新しい作製期間での円滑な紀要作製ができるよう、いずれも次年度の課題とした。また、機関リポジトリについては掲載する研究情報の円滑な収集に向けた検討を行うことを課題とした。</p>
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>2012年度より外部資金の獲得が、科研費では10件から5件、受託研究では13件から5件と半減しており、活動目標の1～3に関して効果的な対応策を期待します。</p>

IV. 研究活動・研究環境

担 当： 研究倫理委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 倫理審査に関わる手続きの整備 2. 審査申請へのサポート体制の構築 3. 研究倫理に関する啓発活動と情報提供
<p>活動内容の評価</p>	<p>まず、「倫理審査に関わる手続きの整備」に関しては、一昨年度から導入した事前意見書が定着し、本審査前に文書等の不備を指摘し、申請者に事前に修正してもらう機会ができたことにより、何度も申請者とやり取りしなければならないようなケースもなくなり、審査手続きがより迅速に行えるようになった。</p> <p>また、国が臨床研究の倫理指針の中で整備を求めている利益相反（COI）の管理についても、今年度より倫理審査申請の際に利益相反自己申告書も添付してもらうことにしたので、COIについても同時に審査できるようになった。</p> <p>次に、「審査申請へのサポート体制の構築」に関しては、従来通り、委員会の事務局を担当している総務課スタッフおよび委員長が、申請の際の質問等に対応した。特に今年度はあらたにCOI自己申告書の提出も始めたので、最後の「研究倫理に関する啓発活動と情報提供」にも関係するが、年度はじめの4月に教員対象の説明会を行い、倫理審査申請の手続きの仕方を解説する機会を設けた。合わせて、申請書を書く際の注意点について、委員から多く指摘される点を中心に、あらたに文書を作成し、配布した。</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>昨年度自己点検委員会から指摘のあった外部委員導入について委員会でも検討した。臨床研究の倫理をめぐるノバルティス社と京都府立医大等の問題を受けて国としても倫理委員会のあり方やその認証制度をめぐる本格的な議論を今年度から開始し、2年をめどに何らかの方針が示されると見込まれる。そのため本委員会としても、今後国が示す方針を見極めてから、それに合わせる形で、外部委員や研修制度の導入を含め、本学の研究倫理委員会の体制を整備することとした。よってこの問題については国の議論の推移を見守りながら、次年度も検討を続ける必要がある。そして、国の方針が固まり次第、それに合わせた制度やそのための予算措置等を検討する必要も生じると思われる。</p>
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>2010年度の「事前申請書」および2012年度の「利益相反自己申告書」双方の導入により、申請手続きの迅速化が定着したことは評価できます。2014年度は研究環境の整備を促進し、若手の研究促進を期待します。</p> <p>外部委員の導入に関して、国の方針を待たずにできるところから始めることも考慮されたい。</p>

V. FD活動等

担 当： F D 委 員 会

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教育評価に関するFD研修会を開催する 2. 学生による授業評価アンケート結果を基にした全学的授業改善体制を作る
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教育評価（成績評価方法）に関するFD研修会（含むワークショップ）を外部講師を招いて開催した。本年度の2回の研修により、学生による授業評価アンケート結果から抽出された問題「授業概要（シラバス）の活用」に関するFD研修会が、シラバスとは何か（2012年8月）を皮切りに、それを構成する「授業目的・目標」（2013年3月）、「授業評価」（2013年8月）、「授業方略」（2014年3月）とシラバスの全ての構成要素に関する研修会が修了した。FD研修会のアンケートでは、「満足」「どちらかと言えば満足」の値がそれぞれ96.4%、100%、85.0%、73.9%と研修内容に対しての満足度が高い数値が得られ（根拠資料参照）、シラバスの構成要素全てに関する研修会が効果的に実施できた点は評価できる。 また、2013年度第2回FD研修会では(2014年3月)「授業方略」とともに「カリキュラムの運用」もテーマに取り入れた。これは次年度の課題にもあるとおり大学全体のディプロマポリシー(以下、DP)およびカリキュラムポリシー(以下、CP)と両学科のDPおよびCP、科のCPと各授業との繋がりを確認する必要があるため、それに関する足がかりとして行ったものである。FD活動の一貫性を担保できたことは評価できる。 2. 学生による授業評価アンケート結果を基にした全学的授業改善体制の構築を教務委員会と協力して行った。質問項目を刷新し、2013年度前期科目から実施した。FD委員会ではアンケート結果のデータを基に、担当教員が授業ごとに改善案を作成する取組みを行った。業者選定および帳票作成に時間を要したが、年度内に実施できたことは評価できる。
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. シラバスに関する研修成果の検証。 カリキュラム（学部・学科・科のCPやDPと各授業を繋ぐ）に関するFD活動を実施する。 2. 学生の授業評価アンケート結果を用いた全学的規模の授業改善体制の運営（公開方法とその検証）方法の確立
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>授業方略や評価に関するFD研修会を開催し、一定の成果を得たことは評価できます。また、次年度のシラバスに関する成果の検証報告を期待します。</p>

VI. 社会貢献

担当： 地域連携等委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 公開講座の企画・運営を行い、地域住民への社会貢献をする 2. 東区役所と本学の連携事業の把握、および東区4者(東区役所、大谷大学、北海道体育大学校、本学)連携事業の企画、運営を行い、地域住民への社会貢献をする 3. 大学間連携として、北海道薬科大学との連携事業に協力する 4. 地域・他大学との連携事業の実態把握をする
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 北海道薬科大学(以下薬科大)と連携した公開講座は今年度で4回目である。薬科大と連携して実施することにより、講座の内容に広がりが見えた。受講生は2012年度と比較すると減少したがアンケート結果(別紙1)からは地域住民の方々にとって有意義な講座を実施することができた。今後も、地域住民にとって有益な企画を立案していく。 2. 本学教員と学生ボランティアが東区役所と連携し地域住民対象に10件の事業を行い、本学の質的資源が地域住民に還元されたことは評価できる。2012年度は東区から依頼された事業が多かったが、2013年度は「天使の昼食会」、「天使・大谷・道体の学食タッピーランチ」など天使や連携している組織から企画案が出された事業が2件あった。「天使の昼食会」は栄養学科4年次生のフードサービス実習の一環として高齢者を招いた食事会を行った。「天使・大谷・道体の学食タッピーランチ」は本学学生が考案したレシピで天使と大谷の学食で昼食メニューやお弁当として販売(道体と東区職員向け)した。どちらの新企画も好評で今後も内容を検討して継続していきたい。 東区4者(札幌大谷大学・札幌大谷大学短期大学部、専門学校北海道体育大学校、札幌東区、本学)の地域連携協定に基づき東区健康づくり公開リレー講座を企画・運営した。この結果(別紙2)をふまえ、企画・テーマ等について検討し今後も継続していきたい。 3. 大学間連携として、薬科大が主体で実施している夕張地域医療体験への学生参加者の把握をし、実習体験の意義を確認した。学習効果がみられたので今後も継続していきたい。 4. 地域・他大学との連携事業の実態を把握し、次年度以降も継続する。
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 公開講座で薬科大と連携することの利点を生かし、企画、運営について検討する。 2. 東区役所との連携事業について、本学が企画する事業について強化し、検討する。また、4者連携では、それぞれの組織が持っている資源の有効活用について検討する。 3. 薬科大との連携事業では、夕張地域医療体験への学生参加者の支援の他に委員会として連携内容等について検討する。また、他大学との連携等についても検討する。 4. 本学教職員が地域・他大学との連携事業等の全体像を掌握し、地域社会へ貢献している現状を整理する。
<p>評価委員会からの評価</p>	<p>本学と東区役所の連携による地域住民に対する事業展開は評価できる。次年度への課題に向けた検討を期待します。</p>

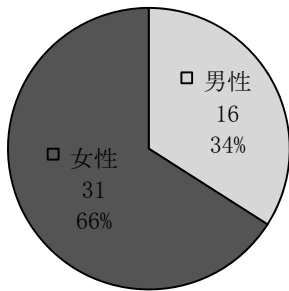
2013年度天使大学・北海道薬科大学連携公開講座 アンケート結果

回答数 47

アンケート実施日：2013年8月22日(木)～9月19日(木)

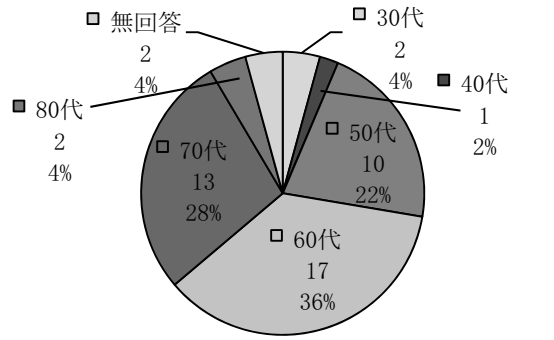
1. 次の事項について、差し障りのない範囲でお答え願います。

1) 性別



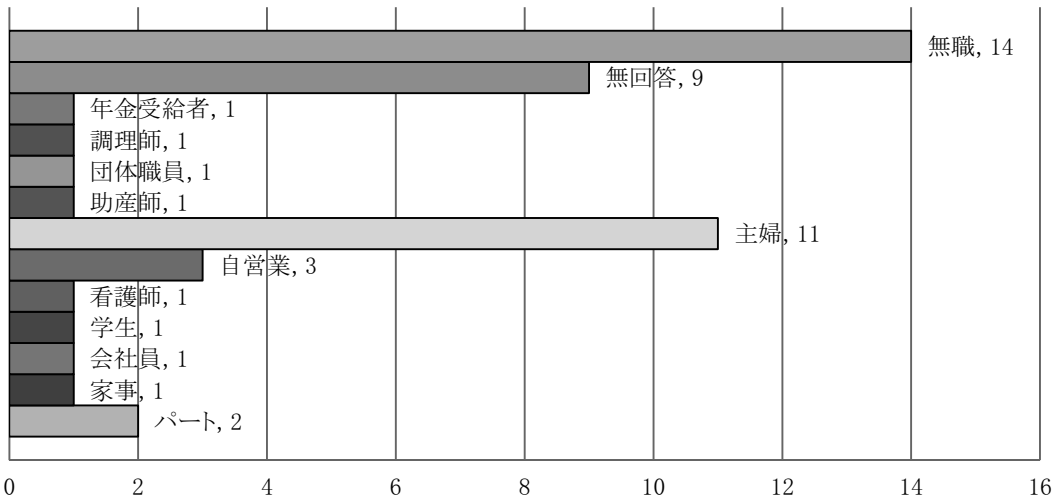
□ 男性 ■ 女性

2) 年齢

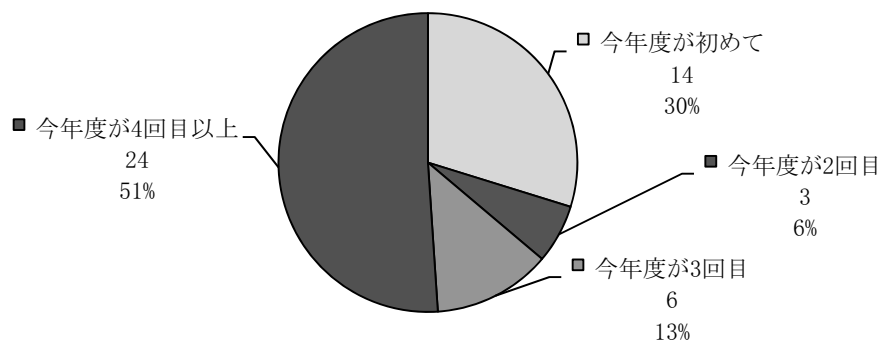


□ 30代 ■ 40代 ■ 50代 □ 60代 ■ 70代 ■ 80代 □ 無回答

3) 職業



2. 参加回数は？



□ 今年度が初めて ■ 今年度が2回目 ■ 今年度が3回目 ■ 今年度が4回目以上

3. 何で知りましたか?(複数回答あり)

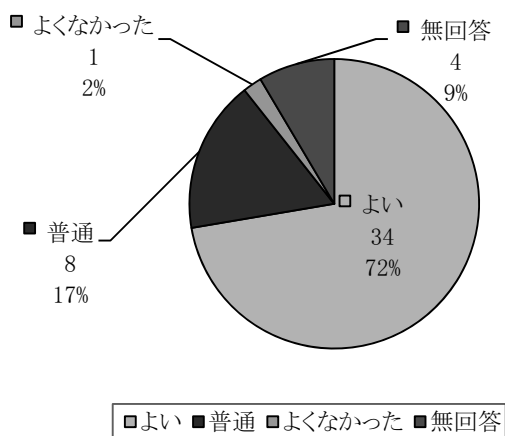
チラシ(北海道新聞折込み)	2	4%
掲示ポスター	3	5%
天使大学からの郵便物(ダイレクトメール)	31	56%
新聞掲載	6	11%
広報誌(道民カレッジ等)	5	9%
ホームページ	1	2%
その他	7	13%
回答なし	0	0%
	55	

4. 参加の動機をお聞かせください

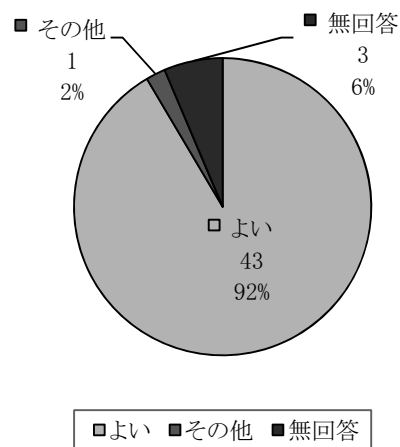
テーマに興味があったので	32	36%
講師陣に魅力を感じて	2	2%
大学連携の公開講座だから	16	18%
通しやすい会場だから	19	21%
参加しやすい開講時間帯であるため	18	20%
その他	2	2%
回答なし	0	0%
	89	

5. 今年度の公開講座についてご感想をお聞かせください。

1) 全体テーマについて



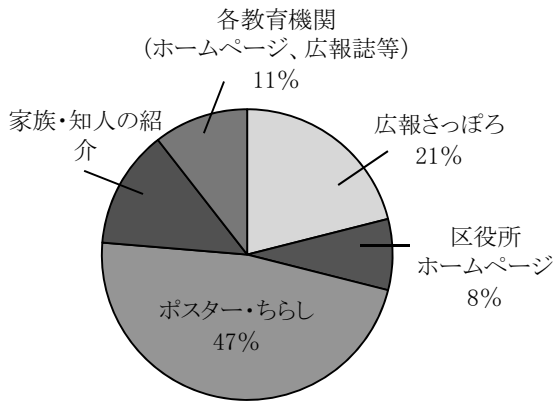
2) 回数について



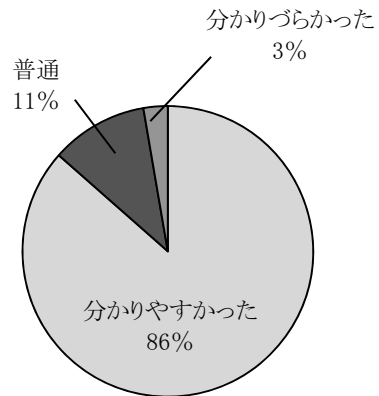
大谷・天使・道体(北海道体育大学校)による東区健康づくり公開リレー講座 アンケート結果

アンケート実施日：2013年10月29日(火)

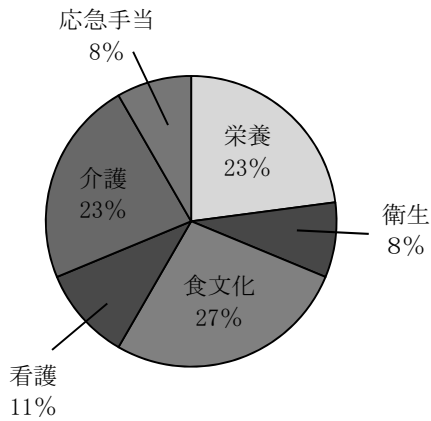
Q1 この講座を何で知りましたか？



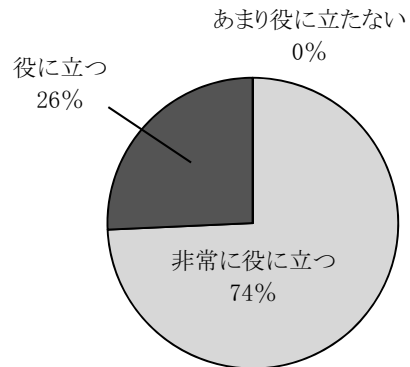
Q2 今回の講座は分かりやすい内容でしたか？



Q3 今後聞いてみたい講座のジャンルはなんですか



Q4 講座の内容は、あなたの役に立つものでしたか？



Ⅶ. 学生生活

担 当： 学生委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学生の生活・健康に関する支援を行う。 2. 学生会活動等の支援を行う。 3. 学生生活全般に関する支援を行う。 4. 学生生活についての調査・評価を行う。 5. 国際交流活動に関する事項を行う。 6. 行事のあり方、内容、時間についての検討を行う。
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 喫煙防止対策として、入学式での父母へのパンフレット配布、アッセンブリーアワーでの「びあの会」による新入生対象の禁煙セミナーを実施した。禁煙セミナーは中高生の喫煙率の低下傾向もあり、一定の評価を得ている。 2. 保健相談室・学生相談室主催のミニ講座等は、いずれも好評であった。学校医による健康相談を希望者に実施した。 3. 保健相談室ニュースの発行を年3回から4回にし、情報発信の機会を増やした。 4. 学生相談室は、例年同様の利用状況であった。休学者の復学支援のため、学生支援教員と学生相談室の連携を教授会で要請した。 5. 学生生活における啓発教育（薬物乱用・カルト等）を新学期の早い時期に1年生に実施しているが、参加学生数も多く、注意喚起になっている。2年生対象の薬物乱用防止セミナーについても専門的な内容の評価が高かった。AED 講習会は実技がしやすいように学科別に実施した。 6. 天使祭・体育祭に向けた学生生活の支援では、葦の会役員を中心に事前アンケート調査を活用した企画を考案し、概ね運営できていたが、計画的な準備作業の遅れや、報告の不徹底などの課題も見られた。そのため、計画的活動の可能な具体的スケジュールを新旧役員間でスムーズに伝達できるような支援が必要と思われる。 7. 学生会活動の支援（葦の会活動・クラブ活動等）では、次年度役員を対象にリーダー研修を支援（1回/年）し、一定の効果が得られた。 8. 葦の会役員（新・旧）、学務課、学生委員会との交流会は、葦の会役員の次年度への引き継ぎや、教職員と学生との意見交換の機会となり、意義あるものであった。 9. 海外研修を企画したが、参加学生数が定員に充たず、2年連続で実施を見送った。 10. 海外研修に関するアンケートを学生・教職員に対し実施し、期間、地域、費用等の点で意見が出され、次年度の計画の参考資料とする。 11. 行事のあり方、内容、時間についての検討については、それぞれの行事ごとに検討しながら支援を行ったが、今後も引き続き検討することが必要と考える。
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「びあの会」による支援が一定の効果をあげており、次年度に活動のできる学生の確保が必要となっている。支援される側ではなく支援する側の学生の育成を充実させたい。 2. 対象学年に合わせた講演会や啓発活動等の年間計画立案。 3. 海外研修のあり方の検討。 4. 学生生活についての調査（4年に1回）の実施。
<p>評価委員会からの評価</p>	<p>学生満足度調査を実施し、学生の側からのより具体的な課題の洗い出しと改善に向けた方策の立案に資するような内容で実施することを要望します。</p> <p>学生の危機管理対策について、災害に対応した情報環境整備と冬期間の災害危機管理の検討を期待します。</p>

Ⅶ. 学生生活

担 当： 宗務委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 宗務関係行事の運営 2. 学生へキリスト教精神を理解させるための企画 3. 教職員修養会の実施 4. 教育理念に即した環境の整備 5. アッセンブリー・アワーの調整 6. カトリックセンターとの連携
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 宗務関係行事の運営 宗務関係行事の運営については、特別なミサ（イースターの集い、死者追悼のミサ、創立記念日のミサ、クリスマスのミサ、新年のミサ、教職員退職へ感謝の意向を持ったミサ、卒業修了感謝のミサ）や毎週のミサ、儀式等（マリア様の戴冠式、クリスマスツリー点灯式、クリスマスキャロル、灰の儀式）を通じて、学内にキリスト教精神の理解を深めよるようにした。 2. 学生へキリスト教精神を理解させるための企画 各学科の修養会でミサや祈りの実施をしている。また、各学科学年ごとにチャペルアワーを行い、内省を行っている。 アッセンブリー・アワーでは、ケン神父様より宗教に関する講話を実施している。 3. 教職員修養会の実施 カトリックセンターが講師の人選と企画を行い、実施している。 今年度は、講師の都合により 12 月 24 日午前中に行った。 アンケートを取ったところ、満足度が高かった。 4. 教育理念に即した環境の整備 退職教員からいただいた寄付金を使い、天使の聖母像を作製し、マリアホールに設置する予定でいる。 5. アッセンブリー・アワーの調整 アッセンブリー・アワーで行うプログラムについて各学科や委員会に確認し、調整を行っている。 6. カトリックセンターとの連携 カトリックセンターと連携し、学生にキリスト教を理解させるような企画を行った。
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 特別のミサや毎週のミサの参加率が上がらない。 2. 修養会やチャペルアワーの参加率を上げる工夫が必要である。 次年度は、学生が学生に対して宗教的発表ができる企画を検討する。 3. 年末の教職員修養会実施であったため、参加しやすい日程を今後も検討していく。 4. 学生ラウンジについてもキリスト教理念を理解できるように企画する。
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>宗務関係行事への学生や教員の積極的な参加を図れるような雰囲気作りや内容などの企画を工夫するように期待します。</p>

VIII. 就職支援

担 当： 就 職 委 員 会

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 就職率100%達成のための支援活動と支援体制強化 2. 就職ガイダンスの充実を図る 3. キャリア教育支援 4. 栄養教諭就職の支援
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 今年度の就職支援活動と支援体制強化 <ol style="list-style-type: none"> 1) 就職内定率は、看護学科 98.8%、栄養学科 81.6%であった。(卒業式時点) 栄養学科は、公務員試験の合格率低下が、就職率に影響している一因と分析している。 2) 筆記試験段階で落ちる学生の相談が多いことから、急遽、希望者対象の有料SPI対策講座と時事対策講座を行った。申込者は、SPI対策講座が19人、時事対策講座が17人であり、参加者からは満足の声が出ている。 2. 就職ガイダンスの充実を図る <ol style="list-style-type: none"> 1) 新規に栄養学科3年次生に対し「業界研究の方法」や「3年生の今やるべきこと」と題したガイダンスを行い、就職活動への理解があがったとの声があった。 2) 新規に看護学科3年次生に対し「公務員試験ガイダンス」「就職サイトの使い方・合同病院説明会の廻り方」のガイダンスを行い、活動の仕方がわかったと声があった。 3. キャリア教育支援 <ol style="list-style-type: none"> 1) 卒業生向けガイダンス「知っておきたい働くときのルール」を8月10日に行った。 参加人数が4名と少なかったが、参加者からは満足度の高い声が聴かれた。 2) 就職ガイダンスで行っているキャリア教育では、両学科3年次生向けに卒業生の経験談、4年次生向けに「働くときのルール」を行い、更に栄養学科では、1年次生向けに「働くということ」、2年次生向けに「コミュニケーションの基本」、3年次生向けに「就職活動終了者によるガイダンス」を行っている。 4. 栄養教諭就職の支援及び公務員の就職試験について <ol style="list-style-type: none"> 1) 教職課程委員会と連携して支援を行った。2013年度は北海道教育委員会の合格者が1名であった。(2名は臨時採用で北海道教育委員会に入職した) 2) 札幌市栄養職の合格者は1名であった。 3) その他、事務系公務員の合格者は6名であった。 5. その他 <ol style="list-style-type: none"> 1) 卒業生の就職支援については、新卒学生や既卒学生についても就職支援を行っている。 特に新卒学生については、卒後1年間、就職するまでEメールで情報提供をおこなっている。2012年度卒業生の新卒未就職者は、1名となった。 既卒者についても74名の登録があり、うち23名の紹介を行った。
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 就職支援については、一般企業就職希望者が増えてきたことから、就職筆記試験の対策について強化していく。 2. 就職ガイダンスについては、参加率は高いが実際の就職活動に活かせていないことが多いので、低学年のうちからキャリア教育を行い、実際に動ける学生を育成することが大事である。 (また、全学的に学生をどう育成するのか検討し、正課と関連させながら、キャリア教育を行うのが大事である。) 3. キャリア教育を低学年から行っていくための就職ガイドブック等の内容の検討を行う。 4. 公務員試験対策の指導内容の改善を必要とする。
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>就職率の向上のため、就職相談室による各学科の先生との支援のあり方について検討を期待します。</p>

IX. 図書館

担当： 図書情報委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 図書館情報管理システム LIMEDIO の外部公開用検索サーバ導入によるサービス開始 2. 平日開館時間の変更に伴う業務委託の取り止めと実態に見合う開館時間の設定 3. LIMEDIO による蔵書点検の実施：年度内に 1 回実施(実施時期は 3 月) 4. 図書館オリエンテーションや文献検索ガイダンスの見直し 5. 機関リポジトリの本学に相応しいあり方の検討と実施計画の策定 6. 将来構想への提言：新館構想に向けての素案提示
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学外から所蔵検索やマイライブラリーを通しての文献複写依頼や図書の貸出予約、CINAHL 等の一部データベースが利用できるようになり、利便性が高まった。 2. 平日は 8 時 50 分～21 時とし、試験期間は 8 時 30 分～21 時 30 分に延長して対応した。 <ul style="list-style-type: none"> ・利用実態に見合う開館時間の設定ができ、業務委託を取り止めることができた。 3. 利用が最も少ない 3 月下旬の閉館時に実施することとした。 <ul style="list-style-type: none"> ・書架の移動作業も実施することができ、利用環境の改善につながった。 4. 担当教員と連携して、講義等に合わせたガイダンスを行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の希望に応じてガイダンスやオリエンテーションを実施した。 5. 本学の機関リポジトリ構築については、国立情報学研究所開発の共用リポジトリを利用。図書情報課が一致協力して対応し、2014 年 4 月 1 日運用開始の準備を完了した。 <ul style="list-style-type: none"> ・収録コンテンツは学術振興委員会の審議を経て 10 項目を確定した。 ・機関リポジトリ管理運用規程を図書情報委員会に諮り、教育研究評議会に上程した。 6. 図書館及び情報処理室とも新館建築に関する素案を提示し、計画化を待望している。 <ul style="list-style-type: none"> ・2013 年度に予定されていた理事会の将来構想計画が示されなかったため、書庫狭隘化や閲覧スペースの不足など、施設設備上の問題点について、対策を講じる必要がある。 7. その他 <ul style="list-style-type: none"> ・洋雑誌については円高と原価の高騰で、大幅な購読料増加となったが、次年度ゼロ・シーリング予算のため、図書費を削って対処することとした。 ・次年度図書館貸出用パソコンについては、栄養学科の了承を得て「エクセル栄養君」と「食物摂取頻度調査 FFQg Ver. 3.5」をインストールすることが可能となった。
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 機関リポジトリの運用開始と利用促進のための案内及び愛称募集の実施 2. 図書館サービスの見直しと改善案の提示 3. 過年度研究費登録図書の処理計画の策定 4. 電子書籍に関する利用案内の実施 5. 将来構想における図書館及び情報処理室の新築計画素案の準備
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>目標に適切に対応した活動を行っており、特に外部サーバの導入や開館時間の見直しなど、図書館の利便性改善に向けた活動を進めたことは評価できます。</p> <p>図書館サービスのさらなる構築、特に次年度より運用が始まる機関リポジトリについて、円滑な運用が行えるよう期待します。</p>

X. 情報処理システム

担 当： 図書情報委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 各システムの円滑な利用を推進し、保守管理体制を確立する。 2. 2013 年度利用状況の把握やアンケート調査などを行って、利用マニュアルの改訂や説明会の開催などを計画・実施し、さらに利用環境の改善整備を図る。 3. 図書館と連携し、新館建築計画等の策定に際し情報提供ができるよう準備する。
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習先との双方向授業や助産研究科の教授会などを円滑に行うため、年間を通して TV 会議システムが活用された。 <ul style="list-style-type: none"> ・マリアホールやラウンジに加え、図書館内にも無線 LAN 域を設定して利用者の便に応えた。 ・7号館3階の有線 LAN 工事を実施し、大学院のインターネット利用を容易にした。 ・保守管理については、業者との連携を深め、止まらないシステムを実現した。 ・今後はセキュリティ体制をより強固にして、安全で利用しやすいシステムの構築に重点を移す。次年度予算で i-Filter を導入し、フィッシングなどへの対策強化を図る予定である。 2. アンケート調査結果を詳細に分析し、図書館内の無線 LAN 域設定や個人用パソコンの持ち込みを認めた。 <ul style="list-style-type: none"> ・2014 年度にはさらに図書館貸出用ノートパソコン 6 台の導入、情報処理室平日の開室時間延長、情報処理室端末全台への「エクセル栄養君」や「食物摂取頻度調査 FFQg Ver. 3.5」のインストールにより、全台均一利用を復活させ、施設の不備をさまざまな利用サービスでカバーすることができるよう準備中である。 ・学生・教職員向けサービスばかりでなく、法人側からの依頼にも応え、勤務時間管理用のソフト設計や以前から事務局で課題となっている学内 LAN 掲示板を利用した施設管理方法についても提案を行った。 3. 現施設は老朽化が進み、さらに授業で使用されている場合は自習ができないため、学生数に見合った広さと利用に必要な設備の補充が必要である。また情報処理事務室には空調設備がないため、情報処理室カーペットの補修と合わせ、エアコンの設置が喫緊の課題である。新館建設の具体化が待たれる状況である。 4. 機関リポジトリについては国立情報学研究所の共用リポジトリを利用し構築することになった。図書情報課が一体でこの業務に取り組むこととし、情報処理室と図書館から JAIRO CLOUD 講習会に出席して情報収集を図った。
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 各システムの円滑な利用とセキュリティ対策を講じ、保守管理体制を強化する。 2. 昨年度同様アンケート調査を行って要望を把握し、利用環境の改善整備を図る。 3. 図書館と連携し、新館建築計画等の策定に際し情報提供ができるよう準備する。 4. 機関リポジトリのシステム面に関する管理体制を構築する。
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>利用環境の改善整備として学内の無線 LAN 域の拡大やソフトウェアの導入を行うなど、利用者の利便性向上に向けた取り組みを行ったことは評価できます。</p> <p>今後は特に、課題に挙げられているセキュリティ体制の構築と強化に期待します。</p>

XI. 施設・設備

担 当：事務局財務室

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 老朽化する施設や設備の定期的な修繕工事と修繕計画の立案 2. エアコン設置や今後のガス単価の値上げに伴う更なる省エネ化 3. 中長期計画に伴う新校舎建築計画の立案
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本年度は8号館の渡り廊下の窓枠シーリング工事や5号館1階、4号館1階の非常口階段の補修工事など小規模な補修・修繕工事を行った。2号館看護学科学学生ロッカーの更新入れ替えや MARIA ホールのテーブル・椅子の入れ替え、6号館1階講義室のAV操作卓設置など学習環境の整備も行った。2014年度には、6号館が建築後15年が経過することから、6号館設備の保守・修繕計画を立てた。また、2013年度も新校舎建設へ向けて第2号基本金組入れ計画表に基づき第2号基本金引当特定預金への積み立ても計画通り行った。 認証評価機構から指摘のあった校舎内のバリアフリー化についても、2014年度に修繕することとした。 2. ボイラー室で集中管理されている1～6号館の暖房については、ボイラー室にてガスの使用量を調整しながら使用し、年度途中でガス単価を改定したが、契約内容を変更しながらこまめに使用量を調整した結果、光熱水費の上昇を抑えることができた。 3. 中長期財務計画および新校舎建築計画については、2013年度に策定することができず、2014年度への継続検討課題となっている。
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 校舎内バリアフリー工事等修繕計画の2014年度の実施 2. 中長期計画に伴う新校舎建築の立案
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>次年度以降、大学基準協会の点検評価項目を参照し、教育研究環境整備やキャンパス・アメニティについて中長期的な計画を示しながら、具体的な教育研究環境整備状況の評価してください。バリアフリー化や認証評価の意見にあった図書館収蔵スペース、グループ学習室、閲覧室の狭隘化対策などについても検討してください。</p>

XII. 管理運営

担 当：事務局総務課

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「教育研究評議会」、「教授会」および「研究科委員会」などを定期的開催し、学長のリーダーシップのもとに組織的な教学運営を行う。 2. 助産研究科の委員会運営の強化
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教育研究評議会、教授会及び研究科委員会を定期的開催し、教学事項を審議検討した。 教育研究評議会については、案件によっては書面会議として円滑な運用を図った。 教授会等の審議報告事項については、学園運営連絡会において報告され学園全体として共通理解に努めている。 2. 助産研究科において、2013年度から教務委員会を再編し、教務委員会、入試・広報委員会とし効率的な運用を行った。
<p>次年度への課題</p>	<p>「教育研究評議会」、「教授会」および「研究科委員会」などを定期的開催し、学長のリーダーシップのもとに組織的な教学運営を行う。</p>
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>次年度以降、大学基準協会の点検評価項目を参照し評価を行ない、教学組織からの出されている課題、法人側からの課題等を明確にし、管理運営体制の適切性及び次年度への課題を評価してください。</p>

XIII. 財務

担 当：事務局財務室

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 継続的な受験者数、入学者数の確保（特に大学院入学者） 2. 外部資金の確保（補助金収入、事業収入等） 3. 教育研究経費の効率的な予算配分（教育研究経費比率の上昇）
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 2013年度の受験申込者総数は878名と前年度842名から36名増加した。内訳は看護栄養学研究科8名（前年度10名）、助産研究科38名（同35名）、看護学科580名（同525名）、栄養学科252名（同272名）となった。入学者については、222名と入学定員（225名）を若干下回ったが、継続的に確保できているため、在籍者総数も815名と定員806名を上回っている。このため学生生徒等納付金や前受金が安定的に確保できており、財務比率は健全である。 2. 国庫補助金収入については、補助金対象教員数の減少および圧縮率の上昇などもあり224,643千円と前年度（232,819千円）より8,176千円減少したが、事業収入においては14,027千円と前年度（8,871千円）より5,156千円増加した。これは栄養学科教員による民間企業、財団からの受託研究が増加したためである。今後は大学全体で受託研究や受託事業契約を増やしていくことが必要となってくる。 3. 教育研究経費比率については、2013年度は24.1%となり、全国の保健系学部の平均（28.2%）と比較すると低くなっている。教育研究経費については教員の質的向上のため教育・研究の環境を整備するとともに特別研究費のあり方等を検討し、効率的予算配分に努めることとする。
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 継続的な受験者数、入学者数の確保（特に大学院入学者） 2. 教育研究経費の効率的に予算配分（教育研究経費比率の上昇）
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>次年度以降、大学基準協会の点検評価項目を参照し評価を行なってください。特に中長期的財政計画と現状の財政分析、予算案作成および予算執行の適切性や内部監査の適切性などについて記述してください。</p>

XIV. 事務組織

担 当：事務局長

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 大学運営の効率的で機能的な支援を行うため事務局体制の見直しを検討する。 2. 事務局組織のレベルアップのため、専任職員の研修参加はもとより、同種の業務を行う嘱託職員についても研修の機会の充実を図る。</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 事務局組織については、これまでの3課体制から3課（総務課、学務課、図書情報課）2室（財務室、入試広報室）体制として8月に機構改正を行い、職務と責任の範囲を明確にした。 学務課の体制については教務担当、学生担当、就職担当の組織のあり方と、入試広報室の室長の兼任については、今後の人事状況等も勘案しながら検討を進めることにしている。 専任職員と非専任職員のバランスについて、定数内で職員2名の専任化を図り改善した。なお、専任職員1名の退職補充について、公募したが適任者が採用できなかったため、年度中は派遣職員を配置した。 各課・室の効率的な業務運営を進めるため業務分析を行うこととし、次年度において日計表、業務日誌などを電子処理化し、分析するための準備として整備を行ったところであり、試行結果を踏まえて検討することとした。 2. 事務職員の資質の向上のため、事務局全体研修として9月6日にSD研修会を実施し、教職員修養会を12月24日に実施したほか、日本私立大学協会等が開催する各種研修会に職員を参加させ、その際、嘱託職員についても外部研修として各種会議、研修に積極的に参加させ、事務局全体のレベルアップに努めた。</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>1. 大学運営の効率的で機能的な支援を行うための事務局体制の見直しを検討する。 2. 事務局組織のレベルアップのため、専任職員・嘱託職員を積極的に各種会議・研修会に参加させるなど研修機会の充実を図る。</p>
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>次年度以降、大学基準協会の点検評価項目を参照し評価を行ない、次年度への課題は具体的に示すように心がけてください。</p>

XV. 自己点検・評価活動

担当： 自己点検評価委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 大学における自己点検活動のあり方の検討 (PDCA サイクルによる自己点検活動) 2. 2012 年度年報作成および次年度以降の年報のあり方検討</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 2011 年度大学評価の内容、課題については、適宜進捗状況を確認する機会を委員会として行った。</p> <p>2. 自己点検活動のあり方について検討した。その結果、自己点検活動は大学自らが内部質保証を担保するというを具現化するためにも本委員会が行っている年度末報告会や年報を基に、大学での課題等を明確にして各部署の活動につなげていくことができるようなはたきかけを行っていくこととした。この点についての全学的理解のために 2013 年度以降の年報作成にあたり、自己点検活動のあり方や内部質保証の意味等を含め教授会にて年報作成要領と併せ説明した (2014 年 1 月)。</p> <p>3. 2012 年度年報作成 2012 年度版は 6 月の発刊を目指したが、構成を大きく見直したことにより原稿の取りまとめに時間を要したことと印刷校正に時間を要したため 9 月の発刊となった。 助産研究科の年報作成は、2012 年度年報が未刊である。</p> <p>2013 年度年報作成にあたり、以下の点を 2013 年度の年報には反映すべく検討を行った。①毎年度同じ内容ではなく、目標、内容はその年度に焦点化したものを明確にする ②活動内容と評価を明確に、数値されるデータ等は具体的に示し活動の分析・評価を明確にする ③次年度の改善策は具体的に示す。</p> <p>4. 年度末報告会は 3 月末 (後日加筆)</p> <p>5. 助産研究科の認証評価終了：課題については、当該部署にて継続的に検討。 以上、自己点検活動は、年度末報告会を開催、全学的な理解を図るなどにより全学的な取り組み、PDCA サイクルとなる取り組みとなるための努力の段階といえる。</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>1. 年報および評価報告会内容について、大学の自己点検活動となっているかの継続的評価</p>
<p>学長からの評価</p>	<p>教員の教育・研究活動については、それを自らが評価して改善していく PDCA サイクルによる自己点検評価が必須であると考えます。また、その結果を報告会等で共有することも、大学という有機体の前進のためには必要です。本委員会が引き続き自己点検評価活動を推進することを期待します。</p>

自己点検・評価資料

目 次

I. 学事歴	27
II. 2013年度開講科目一覧	31
1. 教養教育科	31
2. 看護学科	32
3. 栄養学科	34
4. 教職課程	36
5. 大学院看護栄養学研究科 栄養管理学専攻(博士前期課程)	37
6. 大学院看護栄養学研究科 栄養管理学専攻(博士後期課程)	37
7. 大学院看護栄養学研究科 看護学専攻(修士課程)	38
III. 学生数・奨学金の採用状況	39
IV. 国家試験合格率	40
V. 就職・進学状況	41
VI. 2014年度入学試験結果	43
VII. 教員組織	44
VIII. 事務組織	45
IX. 研究等の活動	46
X. 組織図	49
XI. 会議の開催状況	50
XII. 委員会構成一覧	56
XIII. 委員会の活動報告	57
XIV. 図書館の利用状況	74
XV. 情報処理室の利用状況	75
XVI. 施設・設備の状況	76
XVII. 財務状況	78

I. 学事暦（看護栄養学部）

【前期】

日	月	火	水	木	金	土	行事予定等	臨地実習			
								看護学科	栄養学科		
4月	1	2	3	4	5	6	2日(火)13:00 3日(水)	入学式 新入生オリエンテーション 2～4年次ガイダンス、定期健康診断 前期始講 新入生(1年次) 宿泊研修「出会いと親睦のゼミ」 履修登録期間(2～4、栄編3・4年次) 同上(1年次) 始業ミサ、イースターの集い・学生総会	看4	栄4	
	7	8	9	10	11	12	13				3日(水)
	14	15	16	17	18	19	20				4日(木)
	21	22	23	24	25	26	27				4日(木)～5日(金) 4日(木)～10日(水)
	28	29	30								8日(月)～12日(金) 23日(火)午前
5月	5	6	7	8	9	10	11	14日(火)午後 14日(火)午後 合唱コンクール	看4	栄4	
	12	13	14	15	16	17	18				
	19	20	21	22	23	24	25				
	26	27	28	29	30	31					
6月	2	3	4	5	6	7	8	13日(木)午後 14日(金)～15日(土) 29日(土)	看4	栄4	
	9	10	11	12	13	14	15				天使祭準備 天使祭
	16	17	18	19	20	21	22				開講日
	23	24	25	26	27	28	29				
	30										
7月	1	2	3	4	5	6	6日(土) 20日(土) 27日(土) 22日(月)～26日(金) 29日(月)～8月2日(金)	看4	栄4		
	7	8	9	10	11	12				13	開講日
	14	15	16	17	18	19				20	開講日
	21	22	23	24	25	26				27	開講日 主たる受講年次が看2・3年次科目定期試験
	28	29	30	31							主たる受講年次が看1、栄1～3年次科目定期試験
8月	4	5	6	7	8	9	10	6日(火)～8日(木) 20日(火)～23日(金) 26日(月)～28日(水) 26日(月)～27(火)	看4	栄4	
	11	12	13	14	15	16	17				主たる受講年次が看2・3、栄4年次科目追・再試験
	18	19	20	21	22	23	24				看2・3年次臨地実習オリエンテーション
	25	26	27	28	29	30	31				主たる受講年次が看1、栄1～3年次科目追・再試験 主たる受講年次が看4年次科目追・再試験
											看3 看2
授業期間		主たる受講年次が看2・3年次科目 主たる受講年次が看4年次科目 主たる受講年次が栄2～4年次科目 主たる受講年次が1年次科目					4月4日(木)～7月20日(土) 4月4日(木)～5月10日(金) 4月4日(木)～7月27日(土) 4月8日(月)～7月27日(土)				
臨地実習		看2年次 基礎看護学臨地実習Ⅱ 看3年次 健康生活看護学臨地実習 (母性、小児、老年、成人Ⅰ・Ⅱ) 看4年次 健康生活看護学臨地実習 (母性、小児、老年、成人Ⅰ・Ⅱ、統合Ⅱ) (精神、統合Ⅰ) 在宅看護臨地実習 栄4年次 給食経営管理論実習Ⅲ 給食経営管理論実習Ⅳ 臨床栄養学実習Ⅴ 公衆栄養学実習Ⅱ 栄養教育実習 栄編4年次 栄養学科臨地実習					8月26日(月)～9月6日(金) 8月26日(月)～10月25日(金) 5月13日(月)～8月2日(金) 5月13日(月)～8月2日(金)、9月2日(月)～27日(金) 5月27日(月)～31日(金) 8月19日(月)～9月20日(金)のうち5日間 8月12日(月)～9月20日(金)のうち15日間 5月20日(月)～6月7日(金)、8月12日(月)～9月20日(金)のうち5日間 6月3日(月)～6月7日(金) ※栄編4年次の8月中の実習は8月12日(月)～8月30日(金)				
夏期休暇		看1年次 看2・3年次 看4年次 栄1・2年次 栄3・編3年次 栄4・編4年次					8月3日(土)～9月16日(月) 7月27日(土)～8月25日(日) 8月3日(土)～9月1日(日) 8月3日(土)～9月16日(月) 8月3日(土)～9月1日(日) 7月28日(日)～8月11日(日)				

I. 学事暦 (看護栄養学部)

【後期】

月	日							行事予定等	臨地実習		
	日	月	火	水	木	金	土		看護学科	栄養学科	
9月	1	2	3	4	5	6	7	2日(月) 4日(水)～6日(金) 17日(火)	主たる受講年次が栄3年次科目後期学内授業始講 栄3年次後期履修登録変更期間 主たる受講年次が看1、栄1・2年次科目後期学内授業始講 看1、栄1・2年次後期履修登録変更期間 主たる受講年次が看2、栄4年次科目後期学内授業始講 看2、栄4年次後期履修登録変更期間 2年次教養科目履修登録変更期間 前期卒業証書・学位記授与式	看4 ↑ 看2 ↓ 看3 ↑	栄4 栄3 ↑ ↓
	8	9	10	11	12	13	14	17日(火)～20日(金)			
	15	16	17	18	19	20	21	24日(火)			
	22	23	24	25	26	27	28	24日(火)～30日(月) 24日(火)～30日(月)			
	29	30						30日(月)			
10月	6	7	8	9	10	11	12	15日(火)	主たる受講年次が看4年次後期学内授業始講 看4年次後期履修登録変更期間 栄2年次修養会 栄2ステップ・アップ・セレモニー 主たる受講年次が看3年次後期学内授業始講 看3年次後期履修登録変更期間	看1 ↑ ↓ 看1 ↑	栄4 栄3 ↑ ↓
	13	14	15	16	17	18	19	15日(火)～21日(月) 15日(火)～16日(水)			
	20	21	22	23	24	25	26	18日(金)午後			
	27	28	29	30	31			28日(月) 28日(月)～11月1日(金)			
11月	3	4	5	6	7	8	9		看2年次修養会 看2戴帽式 開講日	↑ ↓ 栄3 ↑	
	10	11	12	13	14	15	16	13日(水)～14日(木)			
	17	18	19	20	21	22	23				
	24	25	26	27	28	29	30	26日(火)午後 30日(土)			
12月	1	2	3	4	5	6	7	3日(火)～4日(水) 5日(木)	栄3年次修養会 体育祭 創立記念日 看3年次修養会 開講日 学生クリスマスの集い・学生総会 開講日 冬期休暇開始 キリスト降誕祭	↑ ↓ 看2 ↑	栄編3 ↑
	8	9	10	11	12	13	14	8日(日) 12日(木)～13日(金)			
	15	16	17	18	19	20	21	14日(土) 17日(火)午後 21日(土)			
	22	23	24	25	26	27	28	24日(火) 25日(水)			
	29	30	31								
1月	5	6	7	8	9	10	11	10日(金) 11日(土)	冬期休暇明け始講 開講日 栄4年次修養会 主たる受講年次が1～3年次科目定期試験	↑ ↓ 看2 ↑	栄編3 ↑
	12	13	14	15	16	17	18				
	19	20	21	22	23	24	25	28日(火)～29日(水) 30日(木)～2月5日(水)			
	26	27	28	29	30	31					
2月	2	3	4	5	6	7	8	5日(水)・10日(月)・12日(水)	主たる受講年次が4年次科目追・再試験 主たる受講年次が1～3年次科目追・再試験	↑ ↓ 栄編3 ↑	栄編3 ↑
	9	10	11	12	13	14	15				
	16	17	18	19	20	21	22				
	23	24	25	26	27	28		24日(月)～26日(水)			
3月	2	3	4	5	6	7	8	11日(火)～12日(水) 13日(木)	看4年次修養会 修了・卒業感謝のミサ 卒業証書・学位記授与式	↑ ↓ 栄編3 ↑	栄編3 ↑
	9	10	11	12	13	14	15	14日(金)10:00～			
	16	17	18	19	20	21	22				
	23	24	25	26	27	28	29				
	30	31									
授業期間	主たる受講年次が栄3年次科目 主たる受講年次が看1、栄1・2年次科目 主たる受講年次が看2年次科目 主たる受講年次が栄4年次科目 主たる受講年次が看4年次科目 主たる受講年次が看3年次科目							9月2日(月)～1月29日(水) 9月17日(火)～1月29日(水) 9月24日(火)～1月29日(水) 9月24日(火)～1月27日(月) 10月15日(火)～1月27日(月) 10月28日(月)～1月29日(水)			
	臨地実習	看1年次 基礎看護学臨地実習 I							10月10日(木)・11日(金)・17日(木)・18日(金)(いずれも午前) 10月29日(火)・30日(水)・11月5日(火)・6日(水)(いずれも終日) 8月26日(月)～9月6日(金) 11月1日(金)～1月17日(金)の毎週金曜日(クラス別隔週実施)		
看2年次 基礎看護学臨地実習 II (再掲) 老年看護学臨地実習 I											
看3年次 健康生活看護学臨地実習 (母性、小児、老年、成人 I・II)							8月26日(月)～10月25日(金)	(再掲)			
看4年次 健康生活看護学臨地実習 (精神、統合 I)											
在宅看護学臨地実習							5月13日(月)～8月2日(金)、9月2日(月)～27日(金)	(再掲)			
健康生活看護学臨地実習 (地域 I・II)											
栄3年次 給食経営管理論実習 II 臨床栄養学実習 III							9月30日(月)～10月4日(金) 11月4日(月)～22日(金)のうち10日間				
栄編3年次 栄養学科臨地実習							2月27日(木)～3月12日(水)				
栄4年次 給食経営管理論実習 IV (再掲) 臨床栄養学実習 V (再掲) 公衆栄養学実習 II (再掲)							8月19日(月)～9月20日(金)のうち5日間 8月12日(月)～9月20日(金)のうち15日間 5月20日(月)～6月7日(金)、8月12日(月)～9月20日(金)のうち5日間				
栄編4年次 栄養学科臨地実習 (再掲)							※栄編4年次の8月中の実習は8月12日(月)～8月30日(金)				
冬期休暇								12月24日(火)～1月9日(木)			

I. 学事暦（大学院看護栄養学研究科）

【前期】

	日	月	火	水	木	金	土	行事予定等
4月		1	2	3	4	5	6	2日(火)13:00 入学式・専攻別オリエンテーション 3日(水) ガイダンス・健康診断
	7	8	9	10	11	12	13	4日(木) 前期授業開始 4日(木)～13日(土) 履修登録期間
	14	15	16	17	18	19	20	
	21	22	23	24	25	26	27	23日(火)午前 始業ミサ、イースターの集い 24日(水)午前 研究計画発表会(看護学専攻)
	28	29	30					
5月				1	2	3	4	
	5	6	7	8	9	10	11	
	12	13	14	15	16	17	18	
	19	20	21	22	23	24	25	
	26	27	28	29	30	31		
6月							1	
	2	3	4	5	6	7	8	
	9	10	11	12	13	14	15	
	16	17	18	19	20	21	22	
	23	24	25	26	27	28	29	
7月	30	1	2	3	4	5	6	4日(木) 中間発表会(栄養管理学専攻)
	7	8	9	10	11	12	13	
	14	15	16	17	18	19	20	16日(火)～19日(金) 修士論文・博士論文の提出
	21	22	23	24	25	26	27	
	28	29	30	31				
8月					1	2	3	2日(金) 学位論文発表会(博士前期課程・博士後期課程) 論文審査会(修士論文、博士論文)
	4	5	6	7	8	9	10	5日(月)～7日(水) 定期試験(ホスピス緩和コース)
	11	12	13	14	15	16	17	
	18	19	20	21	22	23	24	
	25	26	27	28	29	30	31	26日(月)13:00まで 修正済み論文提出
9月	1	2	3	4	5	6	7	9日(月) 後期授業開始
	8	9	10	11	12	13	14	
	15	16	17	18	19	20	21	21日(土) 大学院前期入試(予定)
	22	23	24	25	26	27	28	27日(金)17:00まで 研究計画書提出(看護学専攻)
	29	30						30日(月) 前期修了証書・学位記授与式

I. 学事暦 (大学院看護栄養学研究科)

【後期】

	日	月	火	水	木	金	土	行事予定等
10 月			1	2	3	4	5	
	6	7	8	9	10	11	12	
	13	14	15	16	17	18	19	
	20	21	22	23	24	25	26	
	27	28	29	30	31			30日(水)午前 研究計画発表会(看護学専攻)
11 月						1	2	
	3	4	5	6	7	8	9	
	10	11	12	13	14	15	16	
	17	18	19	20	21	22	23	
	24	25	26	27	28	29	30	
12 月	1	2	3	4	5	6	7	8日(日) 創立記念日
	8	9	10	11	12	13	14	
	15	16	17	18	19	20	21	17日(火)午後 学生クリスマスの集い
	22	23	24	25	26	27	28	25日(水) キリスト降誕祭
	29	30	31					
1 月				1	2	3	4	
	5	6	7	8	9	10	11	
	12	13	14	15	16	17	18	14日(火)~17日(金) 修士論文、博士論文の提出
	19	20	21	22	23	24	25	25日(土) 大学院後期入試(予定)
	26	27	28	29	30	31		
2 月							1	
	2	3	4	5	6	7	8	5日(水) 学位論文発表会(博士前期課程・博士後期課程) 論文審査会(修士論文、博士論文)
	9	10	11	12	13	14	15	15日(土) 後期授業終了(栄養管理学専攻)
	16	17	18	19	20	21	22	20日(木)17:00まで 修正済み論文提出
	23	24	25	26	27	28		27日(木) 後期授業終了(看護学専攻)
3 月							1	
	2	3	4	5	6	7	8	
	9	10	11	12	13	14	15	13日(木) 修了・卒業感謝のミサ
	16	17	18	19	20	21	22	14日(金)10:00~ 修了証書・学位記授与式
	23	24	25	26	27	28	29	28日(金)17:00まで 研究計画書提出(看護学専攻)
30	31							

II. 2013年度開講科目一覧

1. 教養教育科目

科目区分	授業科目	受講年次	学期	単位		区分		
				必修	選択	講義	演習	実習
①基礎教育科目	基礎学修演習	1	前	1			1	
	教養演習	1	後		1		1	
	情報処理演習	1	前		1		1	
②人間と宗教	キリスト教学概論	1	前	2		2		
	人間学	1	前	2		2		
	聖書の講読	2	前		▲2	2		
	宗教学	2	前		▲2	2		
	キリスト教学特論	1	後		▲2	2		
③人間と文化	発達と学習の心理学	1	後		2	2		
	カウンセリング概論	1	後		2	2		
	倫理学	1	後		2	2		
	音楽概論	1	後		2	2		
	美術概論	1	後		2	2		
④人間と社会	法學（日本国憲法）	1	前		2	2		
	社会学	1	前		2	2		
	現代の経済	1	前		2	2		
	近現代の日本	1	後		2	2		
	生活と福祉	1	後		2	2		
	現代社会と生活	1	後		2	2		
	対人関係の心理学	1	前		2	2		
⑤人間と自然科学	化学	1	前		2	2		
	生物学	1	前		2	2		
	統計処理 I	1	後	2		2		
	統計処理 II	2	前	2		2		
⑥人間と外国語	英語 IA(基礎)	1	前	1			1	
	英語 IA(中級)	1	前	1			1	
	英語 IA(習熟)	1	前	1			1	
	英語 IB(基礎)	1	後	1			1	
	英語 IB(中級)	1	後	1			1	
	英語 IB(習熟)	1	後	1			1	
	英語 IIA	2	前		1		1	
	英語 IIB	2	後		1		1	
	オーラルイングリッシュIA(基礎)	1	前	1			1	
	オーラルイングリッシュIA(習熟)	1	前	1			1	
	オーラルイングリッシュIB(基礎)	1	後	1			1	
	オーラルイングリッシュIB(習熟)	1	後	1			1	
	オーラルイングリッシュ IIA	2	前		1		1	
	オーラルイングリッシュ IIB	2	後		1		1	
フランス語	2	前		1		1		
⑦健康とスポーツ	健康とスポーツ I	1	前後		1			1
	健康とスポーツ II	2	前後		1			1

2. 看護学科

科目 区分	授業科目	受講 年次	学期	単位		区分		
				必修	選択	講義	演習	実習
専門 基礎 科目	栄養代謝学	1	前	2		2		
	形態機能学Ⅰ	1	前	2		2		
	形態機能学Ⅱ	1	前	2		2		
	病態治療学Ⅰ	1	前	2		2		
	病態治療学Ⅱ	1	後	2		2		
	看護薬理学	1	後	2		2		
	病態治療学Ⅲ-1	2	前	2		1	1	
	病態治療学Ⅲ-2	2	後	1			1	
	環境健康論	1	後	2		2		
	社会福祉論	1	後	2		2		
	保健医療福祉システム論	2	前	2		2		
	保健医療福祉システム論	3	後	2		2		
	生涯発達論	1	前	1		1		
	医療と倫理	2	前	1		1		
	人間関係論	2	前	1			1	
	医療人類学	4	後		1	1		
	環境生活科学論Ⅰ	3	前	2		2		
環境生活科学論Ⅱ	3	後	1			1		
専門 科目	看護学原理	1	前	2		2		
	看護ケア提供システム論	1	後	1		1		
	基礎看護技術論Ⅰ	1	前	1		1		
	基礎看護技術論Ⅱ	1	後	2			2	
	基礎看護技術論Ⅲ	2	前	1			1	
	基礎看護技術論Ⅳ	2	前	2		1	1	
	ヘルスアセスメント	2	前	1			1	
	母性看護学Ⅰ	2	後	2		2		
	健康生活看護学(母性)Ⅲ	3	前	2			2	
	小児看護学Ⅰ	2	後	2		1	1	
	健康生活看護学(小児)Ⅱ	3	前	2		1	1	
	健康生活看護学(地域)Ⅰ	3	前	1		1		
	健康生活看護学(地域)Ⅱ	3	前	2		2		
	健康生活看護学(地域)Ⅲ	3	後	2			2	
	健康生活看護学(地域)Ⅳ	4	前		1		1	
	老年看護学Ⅰ	2	前	1		1		
	老年看護学Ⅱ	2	後	1		1		
	健康生活看護学(老年)Ⅲ	3	前	2			2	
	成人看護学Ⅰ	2	前	1			1	
	成人看護学Ⅱ	2	後	2		1	1	
	成人看護学Ⅲ	2	後	1			1	
	健康生活看護学(成人)Ⅳ	3	前	2			2	
	精神看護学Ⅰ	2	後	1			1	
	健康生活看護学(精神)Ⅱ	3	前	1			1	
健康生活看護学(精神)Ⅲ	3	後	1			1		
家族看護学	2	後	1		1			

2. 看護学科

科目 区分	授業科目	受講 年次	学期	単位		区分		
				必修	選択	講義	演習	実習
専 門 科 目	家族看護学Ⅰ	3	前	2		2		
	家族看護学Ⅱ	4	前		1		1	
	ホスピス・緩和ケア論	3	後	1		1		
	感染看護学	3	後	1		1		
	基礎看護学臨地実習Ⅰ	1	後	1				1
	基礎看護学臨地実習Ⅱ	2	後	2				2
	健康生活看護学臨地実習(母性)	3~4	後前	2				2
	健康生活看護学臨地実習(小児)	3~4	後前	2				2
	健康生活看護学臨地実習(地域)Ⅰ	4	後	2				2
	健康生活看護学臨地実習(地域)Ⅱ	4	後		2			2
	老年看護学臨地実習Ⅰ	2	後	1				1
	健康生活看護学臨地実習(老年)	3~4	後前	4				4
	健康生活看護学臨地実習(成人)Ⅰ	3~4	後前	3				3
	健康生活看護学臨地実習(成人)Ⅱ	3~4	後前	3				3
	健康生活看護学臨地実習(精神)	4	前又は後	2				2
	健康生活看護学臨地実習(統合)Ⅰ	4	前後	1				1
	健康生活看護学臨地実習(統合)Ⅱ	4	前	1				1
	在宅看護臨地実習	4	前又は後	2				2
	看護倫理	4	前	1		1		
	看護研究の基礎	3	後	1		1		
	看護管理・看護政策論	4	後	1		1		
	看護教育学	4	前	1		1		
	生と死の看護ゼミ	2	後	1			1	
	生と死の看護ゼミ	3	後	1			1	
	英文文献講読Ⅰ	3	後		1	1		
	英文文献講読Ⅱ	4	前		1	1		
	在宅看護論Ⅰ	3	前	1		1		
	在宅看護論Ⅱ	3	後	1			1	
	国際看護論	4	後		1	1		
	統合看護演習	4	前後	2			2	
人間形成とキャリアデザインⅠ	1	前	1		1			
人間形成とキャリアデザインⅡ	2	後	1		1			

3. 栄養学科

科目 区分	授業科目	受講 年次	学期	単位		区分		
				必修	選択	講義	演習	実習
専門 基礎 科目	人間関係論	1・編3	前	1		1		
	生涯発達論	1・編3	前	2		2		
	生化学 I	1	後	2		2		
	形態機能学 I	1	前	2		2		
	形態機能学 II	1	後	2		2		
	微生物学	1・編3	後	2		2		
	形態機能学実習 I	1	後	1				1
	有機化学	1	前		2	2		
	食品科学 I	1	前	2		2		
	食品科学 II	1・編3	後	2		2		
	調理学	1	前	2		2		
	食品科学実験 I	1	後	1				1
	調理学実習 I	1	前	1				1
	調理学実習 II	1	後	1				1
専門 科目	管理栄養士論	1・編3	前	1		1		
	基礎栄養学	1	後	2		2		
	公衆衛生学	2	前	2		2		
	健康管理概論	2・編3	後	2		2		
	保健医療福祉システム論	4・編4	前	1		1		
	公衆衛生学実習	2・編3	後	1				1
	医療概論	2	前		2	2		
	生化学 II	2・編3	前	2		2		
	病理学	2・編3	前	2		2		
	病態診療学 I	2・編3	後	2		2		
	病態診療学 II	3・編3	前	2		2		
	生化学実験	2・編3	前	1				1
	形態機能学実習 II	3・編3	後	1				1
	食品衛生学	2	前	2		2		
	食品科学実験 II	3・編3	前	1				1
	食品衛生学実験	2・編3	前	1				1
	食品微生物学実験	2・編3	前	1				1
	食品科学 III	2・編4	後		2	2		
	環境食事論	4・編4	後		1	1		
	食文化論	4・編4	後		1	1		
	基礎栄養学実験・実習	2・編3	後	1				1
	応用栄養学 I	2・編3	前	2		2		
	応用栄養学 II	2	後	2		2		
	応用栄養学 III	3・編3	後	2		2		
	応用栄養学実習	3・編3	前	1				1
	国際栄養学	4・編4	後		1	1		
免疫と栄養	3	後		1	1			
スポーツ栄養学	3・編3	後		1	1			
栄養教育論 I	2	前	2		2			

3. 栄養学科

科目 区分	授業科目	受講 年次	学期	単位		区分		
				必修	選択	講義	演習	実習
専 門 科 目	栄養教育論Ⅱ	2・編3	後	2		2		
	栄養教育論Ⅲ	3・編3	後	2		2		
	栄養教育論実習	3	前	1				1
	カウンセリング演習	3	前		1		1	
	臨床栄養学Ⅰ	2・編3	後	2		2		
	臨床栄養学Ⅱ	3	前	2		2		
	臨床栄養学Ⅲ	3・編3	後	2		2		
	臨床栄養学Ⅳ	4・編4	前	2		2		
	臨床栄養学実習Ⅰ	3	前	1				1
	臨床栄養学実習Ⅱ	3・編3	後	1				1
	臨床栄養学実習Ⅳ	4・編4	前	1				1
	公衆栄養学Ⅰ	3	前	2		2		
	公衆栄養学Ⅱ	3・編3	後	2		2		
	公衆栄養学実習Ⅰ	3・編3	後	1				1
	地域栄養活動演習	4・編4	前		1		1	
	介護・看護演習	3・編3	前	1			1	
	給食経営管理論Ⅰ	2	前	2		2		
	給食経営管理論Ⅱ	2・編3	後	2			2	
	給食経営管理論実習Ⅰ	2	後	1				1
	フードサービス論	4・編4	前		1	1		
	フードサービス実習	4・編4	前		1			1
	総合演習Ⅰ	3・編3	前後	1			1	
	総合演習Ⅱ	4・編4	前後	2			2	
	食といのちのゼミ	4・編4	後	1			1	
	英文文献講読	3	後		1		1	
	卒業研究	4・編4	前後		3			3
	給食経営管理論実習Ⅱ(学外実習)	3	後	1				1
	臨床栄養学実習Ⅲ(学外実習)	3・編3	後	2				2
	公衆栄養学実習Ⅱ(学外実習)	4・編4	前後		▲1			1
	給食経営管理論実習Ⅲ(学外実習)	4・編4	前		▲1			1
臨床栄養学実習Ⅴ(学外実習)	4・編4	前後		3			3	
給食経営管理論実習Ⅳ(学外実習)	4・編4	前後		1			1	
学校栄養指導論Ⅰ	3	前		2	2			
学校栄養指導論Ⅱ	3	後		2	2			

4. 教職課程

科目 区分	授業科目	受講 年次	学期	単位		区分		
				必修	選択	講義	演習	実習
教職課程科目	教職概論	1	前		2	2		
	教育原論	1	後		1	1		
	教育制度論	2	前		1	1		
	教育課程論	1	後		1	1		
	道德教育論	2	後		1	1		
	特別活動論	2	後		1	1		
	教育方法論	2	前		1	1		
	生徒指導論	2	後		2	2		
	教職総合演習	3	後		2		2	
	栄養教育実習	4	前		1			1
	栄養教育実習事前事後指導	4	前		1			1
	教職実践演習	4	前後		2		2	

5. 大学院看護栄養学研究科 栄養管理学専攻（博士前期課程）

科目区分	授業科目	受講年次	学期	単位		区分		
				必修	選択	講義	演習	実習
基礎科目	倫理学特論	1	後	1		1		
	統計学特論	1	前	1			1	
	人間関係論特論	1	後	1		1		
	医療情報・管理学特論	1・2	後		2	2		
専門基礎科目	食品衛生学特論	1	前	2		2		
	食品学特論	1・2	後		2	2		
	食薬理学特論	1・2	前		2	2		
	栄養生理学特論	1・2	前		2	2		
	代謝栄養学特論	1	後	2		2		
	栄養免疫学特論	1・2	後		2	2		
	薬理学特論	1・2	前		2	2		
	保健医療福祉システム特論	1・2	後		2	2		
専門実践科目	家族関係論特論	1・2	前		2	2		
	栄養管理学特論	1	前	2		2		
	栄養疫学特論	1・2	後		2	2		
	健康行動理論	1	前	2		2		
	健康栄養エビデンス論	1・2	前		2	2		
	栄養診断学特論	1	後	2		2		
	栄養管理学総合演習	1	前後	2			2	
	臨床栄養学特論	1	前	2		2		
栄養管理学特別研究	1～2	前後	4				4	
栄養管理学特別演習	1～2	前後	4			4		

6. 大学院看護栄養学研究科 栄養管理学専攻（博士後期課程）

科目区分	授業科目	受講年次	学期	単位		区分		
				必修	選択	講義	演習	実習
共通	研究方法特論	1	前後	4		4		
管理基礎系 栄養分野	基礎系栄養管理学特論	1	前		2	2		
	基礎系栄養管理学特別研究	1～3	前後		12			12
管理実践系 栄養分野	実践系栄養管理学特論	1	前		2	2		
	実践系栄養管理学特別研究	1～3	前後		12			12

7. 大学院看護栄養学研究科 看護学専攻（修士課程）

科目区分	授業科目	受講年次	学期	修論コース		上級実践コース		○印 CNS 対象 科目	授業区分		
				単位数		単位数			講義	演習	実習
				必修	選択	必修	選択				
基礎科目	看護理論特論	1	前	2		2		○	2		
	倫理学特論	1	後	2		2		○	2		
	看護研究法Ⅰ	1	前	2		2		○	2		
	看護研究法Ⅱ	1	後		1		1			1	
	看護研究法Ⅲ	1	後		1		1			1	
	統計学特論	1	前		1		1			1	
	看護教育学特論Ⅰ	1	前		2	2		○	2		
	看護教育学特論Ⅱ	1	後		1		1			1	
	看護管理学特論	1	後		2		2	○	2		
	コンサルテーション論	1	後		1	1		○	1		
	医療情報・管理学特論	1・2	後		2		2		2		
看護政策論	2	後		1	1		○	1			
専門基礎科目	人間関係論特論	1	後		2		2		2		
	がん・緩和疾患病態学	1	前		2		2	○	2		
	精神病理学特論	1	前		2		2		2		
	薬理学特論	1	前		2		2	○	2		
	保健医療福祉システム特論	1	後		2		2		2		
	健康行動理論	1	前		2		2		2		
	代謝栄養学特論	1	後		2		2		2		
	家族関係論特論	1	前		2		2		2		
専攻分野専門科目	看護学公衆衛生コース	公衆衛生看護学特論Ⅰ	1	前	2				2		
		公衆衛生看護学特論Ⅱ	1	前	2				2		
		公衆衛生看護学演習Ⅰ	1	前	2					2	
		公衆衛生看護学演習Ⅱ	1~2	後前	2					2	
	精神看護学コース	精神看護学特論Ⅰ	1	前	2					2	
		精神看護学特論Ⅱ	1	前	2					2	
		精神看護学演習Ⅰ	1	後	2					2	
		精神看護学演習Ⅱ	1~2	後前	2					2	
	ホスピス緩和ケア看護学コース	ホスピス緩和ケア看護学特論Ⅰ	1	前			2		○	2	
		ホスピス緩和ケア看護学特論Ⅱ	1	前			2		○	2	
		ホスピス緩和ケア看護学特論Ⅲ	2	前			2		○	2	
		ホスピス緩和ケア看護学演習Ⅰ	1	前			2		○		2
		ホスピス緩和ケア看護学演習Ⅱ	1	後			2		○		2
ホスピス緩和ケア看護学演習Ⅲ	1~2	後前			2		○		2		
特別看護研究	2	前後	8						8		
実習Ⅰ	1	後			4		○			4	
実習Ⅱ	2	前			3		○			3	
実習Ⅲ	2	前			3		○			3	
課題研究	2	前後			2				2		

Ⅲ. 学生数・奨学金の採用状況

在籍者数

(2013年5月1日現在)

所属	学科・専攻	コース名等	収容定員	1年	2年	3年	4年	計	収容定員充足率
看護栄養学部	看護学科		348	100 (4)	94 (7)	98 (4)	95 (2)	387 (17)	111.2%
	栄養学科		350	87 (0)	97 (0)	92 (2)	91 (1)	367 (3)	104.9%
		(うち編入生)	10	— —	— —	6 (0)	4 (0)	10 (0)	100.0%
	小 計			698	187 (4)	191 (7)	190 (6)	186 (3)	754 (20)
助産学院 助産研究科	助産専攻	助産基礎分野	60	20 —	19 —	— —	— —	39 —	65.0%
		助産教育分野	20	4 —	3 —	— —	— —	7 —	35.0%
	小 計			80	24 —	22 —	— —	46 —	57.5%
看護学院 看護学専攻 栄養管理学専攻	看護学専攻	ホスピタル・緩和ケア看護学コース	8	2 (0)	2 (0)	— —	— —	4 (0)	50.0%
		公衆衛生看護学コース	4	2 (0)	2 (0)	— —	— —	4 (0)	100.0%
		精神看護学コース	4	0 (0)	0 (0)	— —	— —	0 (0)	0.0%
	栄養管理学専攻	博士前期課程	6	3 (0)	3 (0)	— —	— —	6 (0)	100.0%
		博士後期課程	6	1 (0)	0 (0)	0 (0)	— —	1 (0)	16.7%
	小 計			28	8 (0)	7 (0)	0 (0)	15 (0)	53.6%
合 計			806	219 (4)	220 (7)	190 (6)	186 (3)	815 (20)	101.1%

※()内は男子学生の数

社会人学生数

(2013年5月1日現在)

所属	学 科	1年	2年	3年	4年	計
看護栄養学部	看護学科	6 (1)	5 (1)	8 (0)	6 (0)	25 (2)
	栄養学科	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)
	小 計	6 (1)	5 (1)	9 (0)	6 (0)	26 (2)

※()内は男子学生の数

奨学金の種類と採用数

対象	奨学金の種類		奨学金の金額		貸与・給付の別	採用数
			月 額	30,000円		
全 学 生	天使大学貸与奨学金		月 額	30,000円	無利子貸与	37人
	日本学生支 援機構奨学 金	第一種	月 額	30,000円 または、自宅通学 54,000円 自宅外通学 64,000円	無利子貸与	124人
		第二種 (月額選択)	月 額	30,000円、50,000円 80,000円、100,000円 120,000円	有利子貸与 利率変動3%以内	254人
2 年 次 生 以 上	天使大学シスター川原ユキエ記 念奨学金		年 額	看護学科 600,000円 栄養学科 500,000円	給付 返還不要	10人
	天使大学給付奨学金		年 額	200,000円	給付、返還不要	20人
1～3年 次生	成績優秀者学業奨励金		年 額	50,000円	給付	6人
看学生	北海道看護職員養成修学資金		月 額	32,000円	道内特定施設に5年以上 勤務の場合返還免除	35人
全 学 生	その他の奨学金					5人
合 計						491人

IV. 国家試験合格率

国家試験合格率

学 部・学 科	国家試験の名称	受験者数 (A)	合格者数 (B)	合格率 (%) B/A*100	全国合格率 (%)
天使大学大学院 助産研究科	助産師国家試験	14 人	14 人	100.0%	96.6%
看護栄養学部 看護学科	看護師国家試験	90 人	87 人	96.7%	95.2%
看護栄養学部 看護学科	保健師国家試験	88 人	82 人	93.2%	88.8%
看護栄養学部 栄養学科	管理栄養士国家試験	86 人	77 人	89.5%	91.2%

V. 就職・進学状況

学科別就職希望者（2014年5月1日現在）

[学科別就職希望者]

学科		看護学科						栄養学科					
性別		女子		男子		計		女子		男子		計	
項目		数	割合	数	割合	数	卒業者に対する割合	数	割合	数	割合	数	卒業者に対する割合
就職希望の有無	希望有りの者	78	86.7%	2	2.2%	80	88.9%	87	98.9%	1	1.1%	88	100.0%
	希望無しの者	10	11.1%	0	0.0%	10	11.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計(卒業生数)		88	97.8%	2	2.2%	90	100.0%	87	98.9%	1	1.1%	88	100.0%

[学科別就職決定者]

学科		看護学科						栄養学科					
性別		女子		男子		計		女子		男子		計	
項目		数	割合	数	割合	数	卒業者に対する割合	数	割合	数	割合	数	卒業者に対する割合
決定数/決定率		78	97.5%	2	2.5%	80	100.0%	81	92.0%	1	1.1%	82	93.2%

[地域別・就職別決定者]

学科		看護学科 n=80						栄養学科 n=72					
性別		女子		男子		計		女子		男子		計	
項目		数	割合	数	割合	数	卒業者に対する割合	数	割合	数	割合	数	卒業者に対する割合
地域別	道外	9	11.3%	0	0.0%	9	11.3%	8	9.8%	0	0.0%	8	9.8%
	道内	69	86.3%	2	2.5%	71	88.8%	73	89.0%	1	1.2%	74	90.2%
	市内(再掲)	(65)	(81.3%)	(1)	(1.3%)	(66)	(82.5%)	(46)	(56.1%)	(1)	(1.2%)	(47)	(57.3%)
職種別	看護師	74	92.5%	1	1.3%	75	93.8%	/		/		/	
	保健師	3	3.8%	1	1.3%	4	5.0%	/		/		/	
	管理栄養士	/		/		/		29	35.4%	0	0.0%	29	35.4%
	栄養士	/		/		/		18	21.9%	0	0.0%	18	21.9%
	栄養教諭	/		/		/		3	3.7%	0	0.0%	3	3.7%
	一般企業	/		/		/		24	29.3%	0	0.0%	24	29.3%
	上記以外	1	1.3%	0	0.0%	1	1.3%	7	8.5%	1	1.2%	8	9.7%

[進学状況]

学科		看護学科						栄養学科					
性別		女子		男子		計		女子		男子		計	
項目		数		割合		進学希望者に対する割合		数		割合		進学希望者に対する割合	
進学希望者数		7		0		7		0		0		0	
進学合格者数		7		0		7		0		0		-	

2013年度求人件数・人数（2014年3月31日現在）

〔看護職〕

職 種	件 数					人 数				
	(市内)	道内	道外	全国	件数合計	(市内)	道内	道外	全国	人数合計
看護師	45	93	318	0	411	788	1,711	18,375	0	20,086
保健師	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
助産師	12	33	160	0	193	43	124	848	0	972
計	57	126	478	0	604	831	1,835	19,223	0	21,058

〔栄養士職〕

職 種	件 数					人 数				
	(市内)	道内	道外	全国	件数合計	(市内)	道内	道外	全国	人数合計
栄養士	22	38	9	0	47	57	193	130	0	323
管理栄養士	28	91	26	0	117	42	166	51	0	217
栄養教諭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	50	129	35	0	164	99	359	181	0	540

〔一般職・その他〕

職 種	件 数					人 数				
	(市内)	道内	道外	全国	件数合計	(市内)	道内	道外	全国	人数合計
一般	36	59	92	0	151	503	706	8,161	0	8,867

合計	142	311	604	0	915	1,431	2,896	27,564	0	30,460
----	-----	-----	-----	---	-----	-------	-------	--------	---	--------

注1 (市内)は道内の内数

注2 道内+道外+全国=合計

注3 全国は勤務先が道内・道外に限定されない場合

注4 若干名は3とカウントする

注5 保健師・助産師求人数は人数を明記してある場合以外は3とカウントする

VI. 2014年度天使大学・大学院入学試験結果（2014年4月1日現在）

看護栄養学部

*（ ）は、昨年度の数字です

◆看護学科

試験種別	定員(名)	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数		倍率(受/合)
指定校推薦	40	6	(7)	6	(7)	6	(7)	6	(7)	1.0
公募制推薦		63	(54)	63	(54)	34	(33)	34	(33)	1.9
社会人	37	14	(16)	14	(16)	4	(7)	3	(6)	3.5
一般		318	(306)	301	(302)	67	(64)	33	(43)	4.5
センター利用	10	179	(142)	179	(142)	35	(25)	17	(10)	5.1
総計	87	580	(525)	563	(521)	146	(136)	93	(99)	3.9

◆栄養学科

試験種別	定員(名)	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数		倍率(受/合)
指定校推薦	42	4	(4)	4	(4)	4	(4)	4	(4)	1.0
公募制推薦		56	(50)	56	(50)	39	(38)	38	(38)	1.4
社会人	33	2	(3)	2	(3)	1	(0)	1	(0)	2.0
一般		108	(116)	107	(116)	36	(41)	29	(35)	3.0
センター利用	10	78	(94)	78	(94)	18	(18)	15	(9)	4.3
総計	85	248	(267)	247	(267)	98	(101)	87	(86)	2.5

◆栄養学科（3年次編入）

試験種別	定員(名)	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数		倍率(受/合)
	5	4	(5)	4	(5)	3	(5)	3	(5)	1.3

大学院 看護栄養学研究科

◆看護学専攻

試験種別	定員(名)	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数		倍率(受/合)
前期	8	3	(4)	3	(4)	2	(3)	2	(3)	1.5
後期		1	(2)	1	(2)	1	(1)	1	(1)	1.0
総計	8	4	(6)	4	(6)	3	(4)	3	(4)	1.3

◆栄養管理学専攻 博士前期課程

試験種別	定員(名)	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数		倍率(受/合)
前期	3	3	(2)	3	(2)	3	(2)	2	(2)	1.0
後期		0	(1)	0	(1)	0	(1)	0	(1)	—
総計	3	3	(3)	3	(3)	3	(3)	2	(3)	1.0

◆栄養管理学専攻 博士後期課程

試験種別	定員(名)	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数		倍率(受/合)
前期	2	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	—
後期		1	(1)	1	(1)	1	(1)	1	(1)	1.0
総計	2	1	(1)	1	(1)	1	(1)	1	(1)	1.0

大学院 助産研究科

試験種別	定員(名)	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数		倍率(受/合)	
基礎分野	推薦	10	10	(7)	10	(7)	10	(6)	10	(6)	1.0
	前期一般	15	11	(14)	10	(14)	7	(12)	7	(7)	1.4
	前期社会人		8	(7)	8	(7)	5	(6)	5	(4)	1.6
	後期一般	5	4	(2)	3	(2)	1	(2)	1	(2)	3.0
	後期社会人		0	(1)	0	(1)	0	(1)	0	(1)	—
教 育 分 野	前期	10	2	(4)	2	(4)	2	(4)	2	(4)	1.0
	後期		3	(0)	3	(0)	2	(0)	2	(0)	1.5
総計	40	38	(35)	36	(35)	27	(31)	27	(24)	1.3	

Ⅶ. 教員組織

教員組織一覧

(2013年5月1日現在)

所 属		教授	准教授	講師	助教	助手	計
大学院	助産研究科	10人	2人	1人	1人	1人	15人
	兼任教員(非常勤講師)	—	—	—	—	—	31人
看護栄養学部	看護学科	8人	5人	8人	4人	3人	28人
	栄養学科	8人	6人	5人	2人	5人	26人
	教養教育科	2人	4人	1人	0人	0人	7人
	計	18人	15人	14人	6人	8人	61人
	兼任教員(非常勤講師)	—	—	—	—	—	127人
合計		25人	16人	14人	7人	9人	234人

※1 合計数は兼任教員を除いた数

※看護栄養学研究科の教員数は看護栄養学部を含めている

専任教員年齢構成

(2013年5月1日現在)

所属	職位	71歳以上	66歳～70歳	61歳～65歳	56歳～60歳	51歳～55歳	46歳～50歳	41歳～45歳	36歳～40歳	31歳～35歳	26歳～30歳	計	
助産研究科	教授	1人	0人	2人	3人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	7人	
		14.3%	0.0%	28.6%	42.9%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%	
	准教授	0人	0人	0人	0人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	1人
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
	講師	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0%
	助教	0人	0人	0人	0人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	1人
0.0%		0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%	
計	1人	0人	2人	3人	3人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	9人	
	11.1%	0.0%	22.2%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%	
助手	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	1人	0人	0人	1人	
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100%	
小計	1人	0人	2人	3人	3人	0人	0人	0人	1人	0人	0人	10人	
	10.0%	0.0%	20.0%	30.0%	30.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	100%	
看護栄養学部・看護栄養学研究科	教授	1人	5人	5人	4人	2人	0人	0人	0人	0人	0人	17人	
		5.9%	29.4%	29.4%	23.5%	11.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%	
	准教授	0人	0人	2人	1人	1人	10人	1人	0人	0人	0人	0人	15人
		0.0%	0.0%	13.3%	6.7%	6.7%	66.7%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
	講師	0人	0人	0人	1人	3人	4人	3人	3人	3人	0人	0人	14人
		0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	21.4%	28.6%	21.4%	21.4%	21.4%	0.0%	0.0%	100%
	助教	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	2人	4人	0人	0人	6人
0.0%		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	100%	
計	1人	5人	7人	6人	6人	14人	6人	7人	7人	0人	0人	52人	
	1.9%	9.6%	13.5%	11.5%	11.5%	26.9%	11.5%	13.5%	13.5%	0.0%	0.0%	100%	
助手	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	1人	1人	3人	3人	8人	
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	12.5%	37.5%	37.5%	100%	
小計	1人	5人	7人	6人	6人	14人	7人	8人	8人	3人	3人	60人	
	1.7%	8.3%	11.7%	10.0%	10.0%	23.3%	11.7%	13.3%	13.3%	5.0%	5.0%	100%	
合計	2人	5人	9人	9人	9人	14人	7人	9人	9人	3人	3人	70人	
	2.9%	7.1%	12.9%	12.9%	12.9%	20.0%	10.0%	12.9%	12.9%	4.3%	4.3%	100%	

※定年：65歳

教員の任免・昇任者一覧

(2013年3月31日現在)

学科・科	採用者					昇任者		退職者				
	教授	准教授	講師	助教	助手	准教授から教授	助教から講師	教授	准教授	講師	助教	助手
助産研究科	1人	0人	0人	1人	1人	4人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
看護学科	3人	3人	0人	0人	2人	0人	0人	3人	1人	4人	1人	3人
栄養学科	3人	1人	0人	0人	0人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	2人
教養教育科	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	1人	0人	0人	0人
計	7人	4人	0人	1人	3人	5人	0人	3人	2人	4人	1人	5人

VIII. 事務組織

(2013年5月1日現在)

区分	部門	専任職員		常勤嘱託職員	臨時職員	派遣職員	その他	計
			うち管理職					
法人業務系	法人事務局長	1	1	0	0	0	0	1
		0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0
	計	1	1	0	0	0	0	1
大学業務系	事務局長	1	1	0	0	0	0	1
	総務課	7	1	7	8	0	0	22
	学務課	5	1	4	3	0	0	12
	図書情報課	4	1	3	0	0	0	7
								0
	計	17	4	14	11	0	0	42

※法人事務局長、事務局長は兼務

IX. 研究等の活動

独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業（代表者）の採択状況

	代表者名	研究課題名	種別
1	看護学科教授 荻津 智子	小中学校教員の子どものグリーフに関する認識とグリーフケア	基盤C 新規採択
4	看護学科准教授 針金 佳代子	3歳児と母親が健康な食生活を形成していくための家族支援プログラムの開発	基盤C 継続採択
9	栄養学科准教授 鈴木 純子	CD36欠損者の高糖質・低脂質食による代謝変化に関する研究	基盤C 継続採択
10	教養教育科准教授 堀井 泰明	徳としてのケアリングを基盤とする看護倫理学の構築	基盤C 継続採択

特別研究費の助成状況

	氏名	研究課題名
1	看護学科・教授 新谷 恵子	学生に自らの知識を組み合わせそれを応用する練習をさせる教育技法の開発ー(TBL:team-based learning)を活用した教育方法の検討ー
2	看護学科・准教授 草薙 美穂	若年の母親への育児支援ー虐待予防のためのFeeding Educationー
3	栄養学科・教授 荒川 義人	北海道産ハスカップ、マタタビ、サルナシおよびアロニアの果実に含まれるシステインプロテアーゼの構造および機能解析に関する研究
4	栄養学科・教授 大久保 岩男	本学大学院で養成する高度専門職業人に共通するコンピテンシーの明確化 ～ 両専攻共通科目の提言に向けて～
5	栄養学科・教授 賀来 亨	摂食回復支援食と通常食の組織学的検討
6	栄養学科・准教授 金澤 康子	ハマナス茶の創製と食後血糖値上昇抑制効果の検討
7	栄養学科・准教授 鈴木 純子	生活習慣病の予防・改善のための指導力を養う卒後教育プログラムの構築とその評価ーe-ラーニングを活用した卒後教育の可能性
8	栄養学科・助教 長谷川 めぐみ	Listeria monocytogenesのバイオフィーム形成能力および消毒薬に対する耐性
9	栄養学科・助教 松下 真美	香辛料などの食品成分によるヒト褐色脂肪組織の活性化と肥満予防
10	栄養学科・助手 木田 春代	幼児期における野菜栽培が幼児の野菜嗜好ならびに母親が行う食教育に及ぼす影響
11	教養教育科・准教授 相内 泰三	電子版教育ポートフォリオの運用可能性に関する研究
12	教養教育科・准教授 川口 雄一	遠隔利用デジタル動画教材の配信・再生連携と教材の作成

受託研究等

	代表者名	研究課題名	種別
1	栄養学科・教授 荒川 義人 栄養学科・教授 山部 秀子 栄養学科・准教授 鈴木 純子	ホクレン農業協同組合連合会「平成25年度牛乳・乳製品 需要拡大事業」における「食生活診断キャラバン」実施 助成金	奨学寄付
2	栄養学科・教授 荒川 義人 栄養学科・教授 大久保 岩男	道内のモデル素材を用いた機能性の検証	受託研究
3	栄養学科・教授 荒川 義人	札幌黄の生食時及び加熱加工時の品質特性の検証	受託研究
4	栄養学科・教授 久保 ちづる	道産の機能性リッチな食素材を活用し、生活習慣病を改 善する料理研究の促進	奨学寄付
5	栄養学科・教授 高島 郁夫	アンチエイジング機能を付加した新規ヨーグルトを創出 するための牛初乳からの乳酸菌の探索と製品開発	受託研究
6	栄養学科・准教授 清水 真理	健康づくり関連団体との協働による職域分野における生 活習慣病予防・改善の取り組みの効果と支援プログラムの 検討	受託研究
7	栄養学科・助教 松下 真美	健康飲料の褐色脂肪組織に及ぼす影響の検討	受託研究

FD・SDの実施状況

分類	日時	テーマ	内容
FD (大学研究会 全体)	2013年8月23日 (金)	第2回シラバス(授業計画書)を作ってみようー教育評 価を中心にして	講師: 北海道大学高等教育推進機構 教授 細川 敏幸氏
	2014年3月5日 (水)	カリキュラムの運用と授業方略	講師: 北海道大学高等教育推進機構 教授 細川 敏幸氏
FD (看護学 栄養学 研究科)	2014年1月31日 (金)	質的研究の基本と実践ー人と人を結ぶ視点を得るために ー	講師: 札幌医科大学保健医療学部 准教授 道信 良子氏
	2014年2月13日 (木)	高度専門職業人養成のための大学院教育課程(カリキュ ラムデザイン)構築に向けてー北海道大学保健科学院の 実際ー	講師: 北海道大学大学院保健科学研究院 教授 小笠原 克彦氏
SD 研修会	2013年9月6日 (金)	①労働法の改正について ②2012年度監事監査報告 ③ブランドを広報する -天使大学 ブランディングの現状とこれから-	①講師: 社会保険労務士 北島 春雄氏 ②講師: 土産田 照夫監事 ③講師: 渡邊 泰央入試広報室員

公開講座の実施状況

日時	テーマ	内容
2013年8月22日（木） ） 2013年9月19日（木）	いのちみつめて —我が家で心地良く毎日を楽しく健康に生きる知恵—	北海道薬科大学との連携事業。参加登録者は定員80名に対して74名、受講者の延べ人数は267名でした。

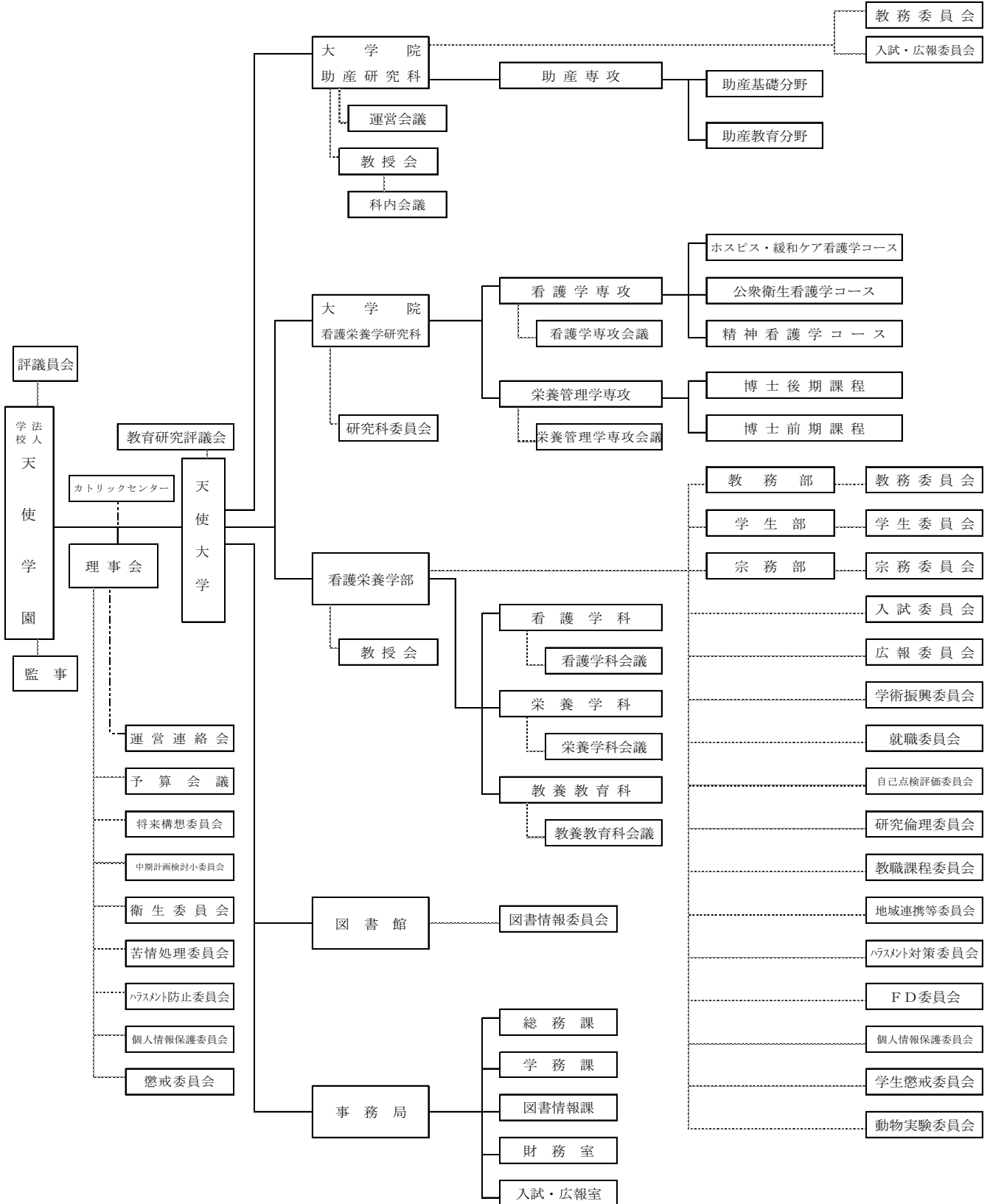
その他の活動

分類	活動内容
東日本大震災復興支援プロジェクト	① ボランティア活動支援 長期休暇を利用し、延べ17名の学生が宮古市、気仙沼市、釜石市、南三陸町において、傾聴ボランティアや瓦礫の撤去等に携わりました。 ② 報告会および講演会の開催 2014年1月14日(火)に、被災地にてボランティア活動に従事した学生の報告会を実施しました。 ③ 被災地用レシピ集の発行 東北の食材を用いたアレンジレシピブック「東北の食材を用いた季節のお祝いレシピ〜心が和む折り紙を添えて」を2013年6月に発刊しました。 ④ 天使祭への出店 天使祭の一般公開日である2013年6月16日(土)に本プロジェクトのブースを設けて、今までの活動を掲示したパネル展示、被災地の産物販売、アレンジレシピ集の中から料理の試食会を行いました。
東区健康づくり公開リレー講座	札幌大谷大学、北海道体育大学校および札幌市東区との地域連携の記念事業として、「健康」をテーマに区民向けの公開講座を2013年10月22日から11月5日の間に計3回、行いました。
コープさっぽろとの連携	産学連携プロジェクトとして料理レシピの共同開発、イベントへの参加、食品表示検定試験等を協力して実施。
レシピブックの発行	本学の看護学科および栄養学科学生によるレシピ集の作成については、4年次生46名が参加し、「天使大学のレシピBook vol. 2 ～学生から一人暮らしのあなたに贈る健康レシピ」が完成しました。

X. 組織図

学校法人天使学園 管理運営組織図 (2013年4月1日)

天使大学大学院 助産研究科
 天使大学大学院 看護栄養学研究科
 天使大学 看護栄養学部



XI. 会議の開催状況

看護栄養学部教授会

回	開催年月日	審議・報告事項
1	2013年4月9日（火）	<p>[審議事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 看護学科専任教員の採用に係る募集大綱について 2. 看護学科専任教員の採用に係る募集大綱について <p>[報告事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2013年度学園・大学事業計画及び当初予算について 2. 2013年度学校医・精神神経科医について 3. 2013年度合唱コンクール実施について 4. 2013年度アッセンブリー・アワーの実施について 5. 2012年度卒業生の就職状況について 6. 各委員会報告について
2	2013年5月7日（火）	<p>[審議事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2013年度入学前の既修得単位の授与について 2. 2014年度看護栄養学部、栄養学科編入学試験、指定校推薦入学試験学生募集要項について <p>[報告事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2013年度学園・大学事業計画及び当初予算について 2. 助産研究科専任教員の学部兼任 新規担当科目について 3. 2013年度クラブ活動団体等について 4. 大学院学則の一部改正について 5. 各委員会報告について 6. 2013年度科学研究費助成事業の状況について 7. 2013年度入学生に対する診断テスト及び英語プレースメントテストの結果について 8. 2015年度一般入学試験・大学入試センター試験利用入学試験の出題科目・出題範囲の公表 について 9. 第27回管理栄養士国家試験の結果について 10. 平成25年度「地（知）の拠点整備事業」について
3	2013年6月11日（火）	<p>[審議事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 看護学科専任教員の採用に係る募集大綱について 2. 教職課程履修規程の一部改正について 3. 2013年度非常勤講師の委嘱・変更について 4. 休学願の許可について <p>[報告事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2012年度学校法人天使学園・天使大学事業報告、会計収支決算および2013年度予算書2012年度監事監査報告について 2. 学業成績優秀者奨励金該当者について 3. 2013年度第1回FD研修会の開催について 4. 卒業生への就職ガイダンスについて 5. 2013年度教職員修養会の実施について 6. 各委員会報告について 7. 事務局体制の整備について 8. 特別教授会、教授会の時間変更文書の配付時刻について 9. 地(知)の拠点整備事業(Center of Community ;COC)への取り組みについて 10. 教養教育科専任教員の募集大綱に対する取り扱いについて
4	2013年7月9日（火）	<p>[審議事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2013年度非常勤講師の委嘱・変更・取消について 2. 休学願の許可について 3. 入試委員会規程の一部改正について <p>[報告事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2012年度学校法人天使学園・天使大学事業報告および会計収支決算について 2. 専任教員の新規担当科目について 3. 2013年度海外研修旅行について 4. 2013年度父母懇談会の開催について 5. 各委員会報告について

回	開催年月日	審議・報告事項
5	2013年8月6日(火)	<p>[審議事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 天使大学教員の採用及び昇任の選考に関する規程の一部改正について 2. 教員選考委員会規程の一部改正について 3. 看護学科専任教員の募集大綱について 4. 2013年度非常勤講師の委嘱について 5. 休学願の許可について <p>[報告事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2012年度学校法人天使学園・天使大学事業報告および会計収支決算について 2. 編入学生の食品衛生管理者及び食品衛生監視員の任用資格取得に関わる今後の対応について 3. 今後の宗務行事予定について 4. 各委員会報告について
6	2013年9月10日(火)	<p>[審議事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2013年度前期卒業証書・学位記授与式実施要領(案)について 2. 教育研究費および特別研究費等各種経費の銀行振込について 3. 委員会報告について <p>[報告事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 天使大学教員の採用及び昇任の選考に関する規程の一部改正について 2. 教員選考委員会規程の一部改正について 3. 2013年度 非常勤講師の委嘱・取消について 4. 2013年度 前期卒業判定について 5. 休学願の許可について 6. 復学願の許可について
7	2013年10月8日(火)	<p>[審議事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 看護学科専任教員の採用に係る募集大綱について 2. 2015年度看護栄養学部入学試験日程について 3. 栄養学科編入生の任用資格取得について <p>[報告事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2013年度フードアンドライフステップアップセレモニー実施要領について 2. 2014年度人事方針について 3. 教員の昇任手続きの開始について 4. 2013年度キャンパスハラスメントに関する講演会の開催について 5. 2013年度教職員修養会の実施について 6. 委員会報告について
8	2013年11月12日(火)	<p>[審議事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 看護学科専任教員の採用に係る募集大綱について 2. 2013年度非常勤講師の委嘱・取消について 3. 2014年度学事暦について 4. 2014年度非常勤講師の委嘱について <p>[報告事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2013年度戴帽式実施要領について 2. 専任教員の新規担当科目について 3. 2013年度天使大学海外研修プログラムの中止について 4. 2013年度体育祭の実施について 5. 委員会報告について 6. その他
9	2013年12月10日(火)	<p>[審議事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2014年度非常勤講師の委嘱について 2. 休学願の許可について <p>[報告事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学長候補者推薦委員会の設置について 2. 2013年度以降の履修登録者がいない場合の取扱いについて 3. 2014年度栄養学科助手の再任用について 4. 2014年度学事暦の一部変更について 5. 委員会報告について

回	開催年月日	審議・報告事項
10	2014年1月15日(水)	<p>[審議事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 2013年度非常勤講師の委嘱について 2014年度非常勤講師の委嘱について 学校法人天使学園病原体等安全管理委員会規程(案)について 天使大学病原体等安全管理マニュアル(案)について <p>[報告事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 学長選任について 2013年度第2回F D研修会の開催について 2014年度天使大学・北海道薬科大学連携公開講座について キャンパス・スラムに關する講演会のアンケート結果について 看護栄養学研究科第2回F D研修会の案内ならびに調査のご協力について 委員会報告について 2013年度年報の作成について 学長から、2014年度新年メッセージが配布された。
11	2014年2月12日(水)	<p>[審議事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 2014年度非常勤講師の委嘱・変更について 履修規程の一部改正について 看護学科教員の募集大綱について 栄養学科専任教員の採用に係る募集大綱について <p>[報告事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 専任教員の新規担当科目について 2014年度学事暦の一部変更について 今後の行事予定について 委員会報告について その他
12	2014年3月19日(水)	<p>[審議事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 進級判定について 休学願の許可について 退学願の許可について 2014年度非常勤講師の委嘱について 栄養学科専任教員(助手)の採用に係る募集大綱について 2014年度既修得単位の認定授与について <p>[報告事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 専任教員の新規担当科目について 2015年度学事暦(出会いと親睦のゼミ日程についてについて) 2014年度入学式実施要領(案)について 委員会報告について 栄養学科教員の昇任について 2013年度定期試験に関するアクシデントについて
臨時1	2013年4月1日(月)	<p>[審議事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 2013年度校務分掌・委員会構成について <p>[報告事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 2013年度教授会構成員について 2013年度学園・大学事業計画及び当初予算について 2013年度イースターのミサ及び御ミサの予定について
臨時2	2013年11月20日(水)	<p>[審議事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 2014年度指定校推薦入学試験、公募制推薦入学試験、社会人入学試験、並びに栄養学科編入学試験の合否判定について <p>[報告事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 専任教員の採用に係る募集大綱並びに嘱託教員の採用に係る募集大綱について
臨時3	2014年2月18日(火)	<p>[審議事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 2014年度一般入学試験(看護学科)の合否判定について <p>[報告事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 2013年度天使大学卒業証書・学位記授与式実施要領について
臨時4	2014年2月25日(火)	<p>[審議事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 2014年度大学入試センター試験利用入学試験(看護学科・栄養学科)の合否判定について 看護学科専任教員の採用に係る募集大綱について 2014年度非常勤講師の委嘱について <p>[報告事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 専任教員の新規担当科目について 2014年度非常勤講師の委嘱取消について

回	開催年月日	審議・報告事項
臨時5	2014年3月3日(月)	<p>[審議事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2013年度卒業判定について 2. 2013年度教職課程修了判定について 3. 休学願の許可について 4. 復学願の許可について 5. 履修規程の一部改正について 6. 2014年度非常勤講師の委嘱について 7. 2015年度学事暦について 8. 看護学科教員募集大綱について <p>[報告事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 専任教員の新規担当科目について 2. その他

看護栄養学研究科研究科委員会

回	開催年月日	審議・報告事項
1	2013年4月9日（火）	<p>[審議事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 休学願の許可について 2. 2013年度開講科目及び担当教員について 3. 大学院学則の一部改正に対する意見について <p>[報告事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 専任教員の新規担当科目について（2013年度以降担当） 2. 2013年度研究科委員会構成員について
2	2013年5月7日（火）	<p>[審議事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2013年度非常勤講師の委嘱について 2. 学校法人天使学園病原体等安全管理委員会規程（案）について 3. 2014年度看護栄養学研究科学生募集要項について <p>[報告事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学位規則の改正に伴う機関リポジトリ設置検討の要請について 2. 看護栄養学研究科管理栄養学専攻の研究指導教員について 3. 大学院学則の一部改正について
3	2013年6月11日（火）	<p>[審議事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2013年度 看護学専攻2年次学位論文研究計画書の審査について <p>[報告事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2013年度 栄養管理学専攻博士前期課程学位論文中間発表会ならびに研究交流会の実施について 2. 看護学専攻のコース増設について 3. 看護学専攻の授業を公開授業とすることについて
4	2013年7月9日（火）	<p>[審議事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 看護学専攻 成人看護学コース増設に伴う学則の改正について 2. 看護学専攻 成人看護学コース増設に伴う「2014年度看護栄養学研究科学生募集要項」の修正について 3. 2013年度 栄養管理学専攻博士前期課程2年次修士論文研究計画書の審査について
5	2013年8月6日（火）	<p>[審議事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2013年度非常勤講師の委嘱について <p>[報告事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 専任教員の新規担当科目について
6	2013年9月25日（水）	<p>[審議事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2014年度看護学専攻修士課程前期試験の合否判定について 2. 2014年度栄養管理学専攻博士前期課程前期試験の合否判定について
7	2013年11月12日（火）	<p>[審議事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2013年度特別講師の委嘱について 2. 2014年度非常勤講師の委嘱について 3. 2014年度長期履修学生申請の許可について <p>[報告事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 研究生の終了報告について 2. 2013年度天使大学大学院第1回FD研修会について
8	2013年12月10日（火）	<p>[審議事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2014年度学事暦（案）について 2. 長期履修学生の取り扱いについて 3. 学校法人天使学園病原体等安全管理委員会規程（案）について 4. 天使大学病原体等安全管理マニュアル（案）について 5. 2014年度非常勤講師の委嘱について 6. 2014年度授業概要の改善について（案） <p>[報告事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2013年度後期学位論文関連スケジュールについて 2. 2013年度天使大学大学院第2回FD研修会について

回	開催年月日	審議・報告事項
9	2014年1月15日（水）	<p>[審議事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 2013年度論文提出による学位申請資格審査について 2013年度論文提出による学位申請者の主査・副査について 休学願の許可について 2014年度看護栄養学研究科の活動目標（案）について <p>[報告事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 2014年度学事暦（案）一部修正について
10	2014年2月12日（水）	<p>[審議事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 2014年度非常勤講師の委嘱・取消について 長期履修学生の期間変更申請の許可について <p>[報告事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 専任教員の新規担当科目について 2014年度学事暦（案）一部変更について 学籍番号の付番方法について
11	2014年3月19日（水）	<p>[審議事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 2014年度非常勤講師の委嘱・取消について <p>[報告事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 2013年度事業報告及び活動のまとめについて 栄養管理学専攻の研究指導教員の変更について
臨時1	2014年1月28日（火）	<p>[審議事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 2014年度看護学専攻修士課程後期試験の合否判定について 2014年度栄養管理学専攻博士後期課程後期試験の合否判定について 2013年度看護学専攻 課題研究論文の主査・副査について 2013年度栄養管理学専攻 修士論文の主査・副査について 2014年度非常勤講師の委嘱について 2014年度特別講師の委嘱について 天使大学大学院看護栄養学研究科学則の一部改正（案）について 天使大学大学院看護栄養学研究科学則の一部改正（案）について <p>[報告事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 2014年度履修要項・授業概要作成について
臨時2	2014年3月3日（月）	<p>[審議事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 2013年度修了判定について <p>[報告事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 2013年度看護学専攻学位論文審査報告書について 2013年度栄養管理学専攻学位論文審査報告書について 2013年度論文提出による学位論文審査報告書について

Ⅺ. 委員会構成一覽

2013年度 校務分掌 委員会構成一覽

区分	委員会名	委員長	委 員	人数	委員任期	担当事務局
教育研究評議会	学長、看護栄養学研究科長、助産研究科長、看護学科長、栄養学科長、教養教育科長、図書館長、宗務部長、教務部長、学生部長、事務局長 助産研究科教務委員長					
常設	教務委員会	菅原	教務部長：菅原 看護学科長、栄養学科長、教養教育科長、教職課程委員長 看護：大野 栄養：山口 教養：日時	8	2年	学務課
	学生委員会	山部	学生部長：山部 看護：柴田・石川 栄養：金澤・岩淵 教養：川口	6	2年	学務課
	宗務委員会	沢	宗務部長：沢 看護：ケン・スレイマン 栄養：岡部・松下 教養：小原 助産：今崎 事務局：菊池・窪田	8	2年	学務課
	図書情報委員会	大久保	図書館長：大久保 看護：久賀・鹿内 栄養：清水・長谷川 教養：日時 助産：津田 事務局：平野	8	2年	図書情報課
	入試委員会	荒川	看護学科長、栄養学科長、教養教育科長 看護：針金 栄養：西 教養：(田島) 事務局：白石	7	2年	総務課
	広報委員会	鈴木(純)	看護：吉田(礼)・鶴木 栄養：勝野・吉田(真) 教養：堀井 事務局：白石	6	2年	総務課
	自己点検評価委員会	茎津	看護栄養学研究科長、助産研究科長、看護学科長、栄養学科長、教養教育科長、事務局長 看護：小島 栄養：西 教養：(田島) 助産：(園生)	11	2年	総務課
	FD委員会	田島	看護：北村 栄養：佐藤 教養：小原 助産：本宿	5	2年	総務課
	学術振興委員会	高島	看護：新谷 栄養：賀来 教養：小原 助産：今崎	5	2年	図書情報課
	地域連携等委員会	山口	看護：針金 栄養：岡部 教養：川口 助産：津田	5	2年	学務課
員 会	就職委員会	相内	看護：草薙・島 栄養：久保・百々瀬 教養：相内	5	2年	学務課
	教職課程委員会	伊藤	教職科目担当：山部・百々瀬・岩淵・相内	5	2年	学務課
	研究倫理委員会	堀井	助産研究科長、看護栄養学研究科長 看護：茎津 栄養：武蔵 教養：堀井 学長指名：鈴木(純)	6	2年	総務課
	キャンパス・ハウスメント委員会	谷井	学生部長、看護：谷井 栄養：山部 教養：伊藤 助産：本宿 事務局長 職員：平野	7	2年	総務課
	学生懲戒委員会	その都度	学生部長、看護： 栄養： 教養： 助産：園生	5	2年	学務課
	個人情報保護委員会	その都度	助産研究科長、看護栄養学研究科長、看護学科長、栄養学科長、教養教育科長、教務部長、事務局長	7	2年	総務課
	看護・学生支援教員	1年： ◎大野・谷井・吉田(礼)・久賀・北村・石川・臺野 2年： ◎菅原・島・鹿内・鶴木・小澤・坂野・富川 3年： ◎柴田・新谷・針金・田中 4年： ◎草薙・茎津・小島・若山・原田				
	栄養・学生支援教員	1年： ◎勝野・久保・清水・岩淵・吉田(真)・高桑 2年： ◎西・高島・山部・岡部・百々瀬・和田 3年： ◎金澤・佐藤・松下・長谷川・木田 4年： ◎鈴木(純)・大久保・山口・峯岸・白幡・古川				
	学長直轄プロジェクト	震災復興支援プロジェクト	リーダー 目時 看護：小澤・田中 栄養：百々瀬・高桑 事務局：高山・西村・松田			
	学長直轄プロジェクト	大学レジビワーキング	リーダー 山部 看護：臺野 栄養：岡部・白幡・長谷川・和田・松下			
後援会講演ワーキング	看護：新谷・原田 栄養：山部・佐藤・松下 教養：川口 事務局：総務課					

大学院看護栄養学研究科の科長・専攻主任

研究科長：大久保 岩男	看護学専攻主任：吉田 礼維子	栄養管理学専攻主任：佐藤 香苗
-------------	----------------	-----------------

◎ 大学院助産研究科の科長・委員会等

研究科長：園生陽子							
区分	委員会等名	委員長	委 員	区分	委員会等名	委員長	委 員
常設機関	運営会議	学長	研究科長、教授職	常設機関	教務委員会	園生	(講義基礎)津田 (講義教育)園生 (実習)本宿 (学生・就職)今崎
	研究科会議	研究科長	教授会構成員		入試広報委員会	津田	園生、本宿、今崎

◎ 理事会設置の委員会

区分	委員会名	委員長	委 員	人数	任期	担当事務局		
常設機関	運営連絡会	理事長	学長、副理事長(2名)、常務理事(総務担当理事)、財務担当理事、看護栄養学研究科長、助産研究科長、看護学科長、学内評議員：菅原、荒川、沢、園生、佐保	12	1年	総務課		
	将来構想委員会	理事長	学長、総務担当理事、財務担当理事、宗務部長、図書館長、研究科長(2)、看護学科長、栄養学科長、教養教育科長、事務局長、教職員で理事・評議員：菅原、荒川、沢、園生、佐保	12				
	衛生委員会	学長	産業医：樟本(天使病院)、看護：若山 栄養：武蔵 教養：川口 事務局：豊島(保健師)加藤	7				
	苦情処理委員会	委員	互選	理事長指名：教員=前田・荒川 職員：佐保 教授会選考： 山部・小原 職員会議選考：鈴木			7	
		代理委員	その都度互選	理事長指名：教員=吉田(礼) 職員：安田 教授会選考： 職員会議選考：渡邊			5	
	懲戒委員会	理事長指名	理事長が任命する5名	5				
	ハラスメント防止委員会	理事長	(理事)菊地、曾我、山本、菅原、(教員)前田、堀井 (職員)：白石	7				
	個人情報保護委員会	互選	理事長、学長、常務理事、理事(理事会選出)：菅原、事務局長	5				
	カトリックセンター	理事長任命	センター長：沢 カトリック司祭、常務理事、宗教教育担当者	4			2年	学務課

XIII. 委員会の活動報告

2013年度 教務委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：菅原邦子 委員：前田明子、荒川義人、田島忠篤、伊藤進、大野和美、山口敦子、目時光紀 計8名</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>17回 臨時 11回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教務委員会開催日程について ・助産研究科専任教員の学部兼担新規担当科目について ・休学願・復学願・退学願許可について ・既修得単位の認定・授与について（当該年度及び次年度） ・非常勤講師の委嘱・変更・取消について（当該年度及び次年度） ・専任教員の新規担当科目について（当該年度及び次年度） ・特別講師の委嘱、取消について（当該年度及び次年度） ・実習指導教員の委嘱、変更、取消について（当該年度及び次年度） ・授業アシスタントの委嘱について（当該年度及び次年度） ・開講科目の学期変更について（当該年度及び次年度） ・教務委員会活動計画・予算について（当該年度及び次年度） ・学生による授業評価アンケートについて（当該年度及び次年度以降） ・授業評価アンケートの公表方法及びアンケート原票の保存期間について ・講師会の評価・検討（当該年度及び次年度） ・追実習願の許可について ・栄養学科4年次生の追実習の取消について ・看護学科3年次生の後期臨地実習履修判定について ・栄養学科3年次生の後期臨地実習履修判定について ・栄養教育実習履修判定について ・栄養学科編入生の食品衛生監視員等の任用資格取得の表記等について ・試験・評価日程について（前期及び後期） ・前期追・再試験監督担当学科について（前期及び後期） ・追試験の再試験担当者が出た場合の再試験日程について ・教職課程科目の土曜日開講について ・看護学科の進級要件について ・追試験受験願の許可について ・2014年度新任非常勤講師へのオリエンテーションの実施について ・看1栄1～3の科目における追試験対象者の再試験等日程について ・卒業判定にかかる日程について ・卒業判定について（前期卒業及び年度卒業） ・教職課程修了判定について ・進級判定について ・次年度学事暦及び変更について ・次次年度（2015）学事暦（案）について ・2014年度以降入学生の教養教育科目の進級要件の変更について ・2014年度オーラルイングリッシュIA, IBの担当クラスの変更について ・履修要項・授業概要の教養教育科目に関する記載の修正について ・履修規程の一部改正について ・履修規程の附則について ・科目の再評価後に再試験該当者とならなかった学生への再試験受験料の返還について ・2014年度時間割について ・次年度時間割編成のガイドライン・編成条件について ・GPA制度について ・出会いと親睦のゼミ・新入生オリエンテーションの評価・検討 ・次年度出会いと親睦のゼミについて 	

- ・次年度新入生オリエンテーションについて
- ・次年度在学生ガイダンスタイムスケジュールについて
- ・学習環境について
- ・忌引きの取り扱いに関する一部改正について
- ・次年度予算について
- ・時間割編成上の課題について
- ・次年度アッセンブリーアワー利用について
- ・授業科目の成績評価に対する学生からの意見申出について
- ・定期試験に関する事故事例対応策について

[主な報告事項]

- ・2012年度看護学科評価、教務関係の評価内容について
- ・講師会について
- ・学事暦の変更について
- ・出会いと親睦のゼミアンケート結果について
- ・土曜開講日について（前期及び後期）
- ・履修登録数、聴講届、他学科履修について（前期及び後期）
- ・履修登録遅延者対応について
- ・私大協教務部課長相当者研修会の参加及び報告
- ・保証人への成績通知書の送付について
- ・2013年度教務委員会活動報告書の作成について
- ・2013年度授業評価アンケート集計結果の表記について
- ・教室の視聴覚機器の入替について
- ・授業評価アンケート集計結果を基にした授業改善体制づくりについて
- ・TOEIC 説明会について
- ・Newton TOEIC e-learning の申込者について
- ・高校新課程導入に伴う教養教育科カリキュラムの一部見直しについて
- ・教職課程履修取消者数について
- ・次年度時間割編成等に向けた作業行程について
- ・忌引きの取り扱いに関する一部改正について
- ・後期定期試験時間割の変更について
- ・非常勤講師の印刷室利用について
- ・看2の授業を修養会で行うことについて
- ・時間割編成上の課題について
- ・2012年度授業評価報告書の納品日について
- ・2014年度入学前の既修得単位認定スケジュールについて
- ・看1学生栄養代謝学再試験対象者への対応について
- ・編入4年次生の卒業判定について
- ・授業科目の成績評価に対する学生からの意見申出について（看1・看4）
- ・H25厚生局による養成施設指導調査結果について
- ・新入生の学籍番号付番とクラス分けについて
- ・新入生オリエンテーションについて
- ・新入生オリエンテーションスケジュール、ガイダンス等タイムスケジュールの変更について

2013年度 学生委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：山部秀子 委員：柴田和恵、石川徳子、金澤康子、岩瀬絵里子、川口雄一</p> <p style="text-align: right;">計6名</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>11回</p>
<p style="text-align: center;">審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2013年度活動計画・役割分担について ・2013年度委員長不在時の委員長代理について ・2013年度海外研修について ・2013年度学生委員会担当行事関係について ・盗難について ・遺失物・拾得物の取り扱いについて ・「ぴあの会」の今後の活動について ・学生相談室と学生支援教員の連携について ・学生の健康調査票の導入について ・2014年度感染症予防対策について ・2014年度以降の海外研修旅行について ・2014年度以降の海外研修企画のためのアンケート調査について ・2014年度新入生オリエンテーションについて ・2014年度予算案・活動計画書案について ・2014年度アッセンブリー・アワープログラム案について ・2014年度学生生活ガイドブックの掲載文面案について ・2014年度学校医（内科医・精神科医）の委嘱について ・2013年度自己点検評価について ・その他 <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2013年度海外研修旅行について ・2013年度予算見積内訳書について ・2013年度学生委員会・葦の会関係行事の進捗状況・実施報告について ・2013年度入学式での母子への禁煙支援リーフレットの配布について ・オフィスアワーについて ・2012年度自己点検・年報について ・遺失物・拾得物届、月別遺失物届報告について ・2014年度学事暦案について ・2013年度危機管理マニュアルについて ・水飲み場（6号館1階）の撤去について ・2013年度海外研修プログラムの中止について ・2014年度感染症予防対策の変更予定について ・2014年度学生生活ガイドブックの校正について ・2014年度ホームページ進捗状況について ・保健相談室関係進捗状況・月別報告、クッキングライブ実施、健康だよりの発行について ・学生相談室関係進捗状況・月別報告、学生相談室と学生支援教員の連携について ・休学する学生に対するメンタル面でのサポートと、関係部署との連携について ・「ぴあの会」関係について ・2012年度学生相談室・保健相談室活動報告書について ・第1・2回「健康管理運営委員会」開催について ・学生委員会関係研修会報告について ・2013年度自己点検評価について ・2014年度天使大学学生生活についての調査の実施について ・その他 	

2013年度 宗務委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：沢 禮子 委員：ケン・スレイマン、今崎裕子、岡部哲子、松下真美、小原 琢、 菊池史恵、窪田公香</p> <p style="text-align: right;">計8名</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>10回</p>
<p style="text-align: center;">審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2013年度イースターの集いについて ・2013年度行事担当者役割について ・チャペルアワーの伴奏について ・毎週のミサについて ・予算の執行について ・2013年度イースターの集いの反省について ・看護学科自己点検委員会からの質問について ・後期のミサについて ・新規講演会の提案について ・行事日程について ・前期修了卒業感謝ミサについて ・教職員修養会の日程変更について ・クリスマスの集いの配布物について ・2014年度学事暦について ・教職員修養会について ・死者追悼ミサについて ・2014年度予算編成方針 ・創立記念のミサについて ・クリスマスミサについて ・修了・卒業にあたっての感謝ミサ ・教職員修養会の反省について ・今後のミサの日程について ・2014年度予算検討事項 ・2014年度イースターの集いについて ・2014年度アッセンブリー・アワー年間予定表について ・教職員退職感謝ミサについて 	

[主な報告事項]

- ・聖書を英語で読むクラスについて
- ・教職員修養会について
- ・修了・卒業のミサの施設貸与依頼完了報告
- ・チャペルの側壁工事について
- ・チャペル側壁工事完了報告
- ・カトリックセンターの本の整理について
- ・チャペルの絵画について
- ・カトリックセンターの図書について
- ・カトリックセンターのボランティアについて
- ・カトリックセンター報告
- ・ツリー点灯式の開始時間変更について
- ・クリスマス献金報告
- ・予算について
- ・カトリック医療学生セミナーについて

2013年度 図書情報委員会活動報告

委員会組織	委員長：大久保岩男 委員：草薙美穂(鹿内あずさ先生と10月交代)、久賀久美子、清水真理、長谷川めぐみ、目時 光紀、津田万寿美、平野敦子 計8名
委員会開催数	10回
審議・報告事項	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2013年度活動計画について：本学機関リポジトリ構築など ・後援会助成及び学生購入希望図書・雑誌の選定、雑誌の新規購読について ・紀伊國屋書店見計らい図書(キノコレ)の選定分野および出版社の再選考について ・学生からの洋雑誌貸出希望について ・過年度研究費図書の除籍・廃棄ないしは図書館移管希望について ・Facebook等の図書館広報への活用について ・情報処理室利用に関するアンケート調査(結果報告)と課題について ・メディカルオンライン導入の是非について ・2013年度後期図書館開閉館予定表(案)について ・有線LAN導入の追加工事(7号館3階)及び図書館内無線LAN域設定について ・本年度予算計上の院生学習室助産研究科用および図書館内学生用端末の取替について ・洋雑誌の継続購読見直しと購読料高騰への対応について ・大学基準協会の評価結果に対する本委員会の対応について ・2014年度図書館および情報処理室活動計画(案)および予算内訳書(案) ・新規購入雑誌と洋雑誌の次年度継続購読の決定について ・本学リポジトリの構築について：共用リポジトリ利用申請、愛称の公募、管理運用規程の制定について ・2014年度図書館前期(4月～9月)開閉館予定について(案) ・学内LAN掲示板を利用した施設管理について(案) ・自己点検・評価用年報原稿(案)について <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2012年度図書資料費執行状況(結果報告)及び2013年度図書資料費執行状況(月次報告) ・2013年度図書資料費予算配分について ・受贈図書の選定について ・退職教員の移管図書について ・新年度配付ないしは学内LAN掲示板掲載資料：2013年度受入雑誌リスト、2012年度後援会助成図書資料一覧 ・天使祭期間の図書館一般開放について(報告) ・紀伊國屋書店見計らい本『キノコレ2』について ・北海道地区大学図書館協議会総会の開催について(報告) ・サーバーソフト改善作業のためのサーバー停止について：2013年12月24日9:00～12:00教職員修養会開催中 ・2013年度蔵書点検及び書架移動の実施について 	

2013年度 入試委員会活動報告

委員会組織	委員長：荒川義人 委員：前田明子、田島忠篤、針金佳代子、西 隆司、白石澄枝 <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">計6名</div>
委員会開催数	17回
審議・報告事項	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2013年度 入試委員会活動計画について ・学生募集要項（学部・指定校推薦・栄養学科編入学試験）について ・入学試験出題者について ・新学習指導要領に対応した一般入学試験・センター利用入学試験の「理科・数学」の出題範囲の公表について ・学籍上の変更（留年、休学、退学）が生じた指定校推薦入学者に関する出身高等学校への報告について ・インフルエンザを罹患した受験者への対応について ・入学試験制度の見直しについて ・入試委員会規程の修正について ・2015年度入学試験の日程について ・東日本大震災に被災した受験者への対応について ・安全・確実な「webサイト上での合格発表」のためのスキームについて ・合格発表を取り扱うwebサイト作成委託業者との秘密保持契約書について ・個人面接試験について ・小論文試験について ・合否判定基準について ・入学手続要項について ・2014年度 推薦入学試験、社会人入学試験、栄養学科編入学試験について ・公募制推薦・社会人入試の小論文試験問題について ・2014年度一般入学試験・センター利用入学試験について ・入試に関する「不測の事態」等の危機管理体制について ・追加合格決定のプロセスについて ・2014年度一般入学試験学科試験 得点調整について ・2014年度一般入試、センター利用入試 追加合格者について ・2014年度大学入試センター試験について ・2014年度推薦入学試験、社会人入学試験、栄養学科編入学試験 合否判定について ・2014年度一般入学試験栄養学科合否判定について ・2014年度一般入学試験看護学科合否判定について ・2014年度センター利用入学試験（看護学科・栄養学科）合否判定について ・2014年度推薦入学試験、社会人入学試験、栄養学科編入学試験の点検評価について ・2014年度一般入学試験、センター利用入学試験、大学入試センター試験の点検評価について ・2013年度入試委員会活動計画に対する点検評価について ・2014年度入試委員会 活動計画について ・2014年度入試委員会予算について <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2014年度入試問題の著作権処理について ・天使大学入学試験問題集について ・入学試験問題の事前分析・事後分析の業務委託契約書について ・天使大学入学試験問題作成委員（一般入試）と第三者点検者による合同入学試験問題検討会について 	

2013年度 広報委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：鈴木純子 委員：吉田礼維子、鶴木恭子、勝野由美子、吉田真弓、堀井泰明、白石澄枝 計7名</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>8回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2013年度広報委員会活動計画（学部・看護栄養学研究科）について ・2013年度役割分担について ・2014年度大学案内パンフレットについて ・2014年度大学案内パンフレットの点検評価と2015年度大学案内パンフレットについて ・2013年度学生募集（進学相談会、校内ガイダンス、高校訪問等）について ・2013年度広報活動のための学内勉強会について ・2013年度広報活動のための学内勉強会の点検評価について ・2013年度出張講義について ・天使大学webサイトについて ・Webサイトのサーバの変更について ・2013年度オープンキャンパスについて（第1回・第2回・第3回） ・オープンキャンパスちらし・ポスターの送付について ・第3回オープンキャンパス参加促進はがきについて ・2013年度 第1回オープンキャンパスの点検評価について ・2013年度 第2回オープンキャンパスの点検評価について ・2013年度 第3回オープンキャンパスの点検評価について ・2014年度オープンキャンパスについて ・コミュニケーションマークについて ・本学学生への大学院（看護栄養学研究科）説明会について ・本学学生への大学院（看護栄養学研究科）説明会の点検評価について ・在学生の肖像権について ・広報活動のための資料集の改訂について ・天使大学オリジナル焼き菓子について ・学報について ・新入生・在学生アンケートについて ・2013年度 広報委員会 各担当の評価報告について ・2013年度 年報（広報委員会関係部分）について ・2014年度広報委員会 活動計画書について ・2014年度 広報委員会予算（学部）について <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学紹介DVDについて ・新入生アンケートについて ・高校訪問等に向けた職員勉強会について ・クリスマスカードについて ・志願促進DMについて 	

2013年度 自己点検評価委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：荃津智子 委員：園生陽子、大久保岩男、前田明子、荒川義人、田島忠篤、小島悦子、 西 隆司、佐保末男 計9名</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>6回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2013年度活動方針・活動内容について ・2012年度年報の作成について ・2013年度年報の作成について ・大学評価結果の努力課題への取り組み状況の確認について ・自己点検評価委員会の位置づけと役割について ・内部質保障システムの確立について <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2012年度年報の進捗状況について ・助産研究科における認証評価の進捗状況について ・日本助産評価機構への評価報告書の提出について ・助産研究科の認証評価委員による現地調査について 	

2013年度 FD委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：田島忠篤 委員：北村育子、佐藤香苗、小原 琢、本宿美砂子</p> <p style="text-align: right;">計5名</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>9回</p>
<p style="text-align: center;">審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2013年度活動方針・活動内容について ・2013年度第1回FD研修会について ・2013年度第1回FD研修会のアンケート結果について ・授業評価アンケートの活用について ・2013年度第2回FD研修会について ・2014年度活動計画および予算について ・2013年度事業報告および活動のまとめについて ・授業概要について <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2012年度第2回FD研修会について ・教務委員会からの要望について ・講師との打ち合わせ結果について 	

2013年度 学術振興委員会活動報告

委員会組織	委員長：高島郁夫 委員：新谷恵子、賀来 亨、今崎裕子、小原琢 計5名
委員会開催数	10回
審議・報告事項	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前期研究報告会について ・2013年度活動計画について ・競争的外部資金獲得のための情報収集と提供について：科研費説明会や講演会など ・研究環境整備、特に若手研究者の育成(助手の待遇改善)について ・紀要の年2回発行と学内用冊子体作成について ・機関リポジトリの導入に伴う掲載情報について ・天使大学紀要第14巻の作成について：第14巻第1号査読状況、第2号原稿募集の案内 ・後期研究報告会の案内及び実施要領について ・本学リポジトリ収録コンテンツの申請項目について ・後期研究報告会の進行について(大学ホームページに掲載済) ・紀要の年2回発行の見直しについて ・国立情報学研究所共用リポジトリの利用申請について：収録コンテンツ10項目提出 ・2014年度学術振興委員会活動計画(案)について ・2014年度学術振興委員会予算(案)について ・紀要第14巻第1号の掲載可否の判定について ・投稿規程改正案の上程について ・「投稿および査読に関する申し合わせ事項」改訂について ・執筆要領、審査留意事項の見直しについて ・紀要第14巻第2号の査読委員と投稿・査読状況 ・機関リポジトリ管理運用規程(案)について ・自己点検・評価用年報原稿について <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2013年度活動計画及び予算について ・紀要第13巻第2号の発刊及び第14巻第1号の原稿募集について ・2013年度課題への取り組みについて ・紀要第13巻第2号への掲載可否について ・紀要第14巻第1号への投稿申込状況、査読及びCiNii登録・掲載(2013年12月末実施)について ・紀要第14巻第2号への投稿状況について ・北海道大学リサーチ・アドミニストレーター教育プログラムについて ・紀要第15巻第1号の原稿募集案内について ・後期研究報告会の司会進行の確認について 	

2013年度 地域連携等委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：山口敦子 委員：針金佳代子・岡部哲子・川口雄一・津田万寿美</p> <p style="text-align: right;">計5名</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>11回</p>
<p style="text-align: center;">審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2013年度天使大学・北海道薬科大学連携公開講座について ・2013年度委員長不在時の委員長代理について ・2013年度東区役所と本学との年間連携事業の把握・報告書について ・2013年度地域・他大学と本学との年間連携事業の把握・報告書について ・2013年度北海道薬科大学との連携事業について ・2013年度東区4者連携事業について ・2013年度東区健康づくり公開リレー講座について ・平成26年度ほっかいどう学インターネット講座の参加について ・2014年度天使大学・北海道薬科大学連携公開講座の実施案・ポスターについて ・2014年度予算（案）・活動計画書（案）について ・2013年度自己点検評価について ・その他 <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2013年度活動計画および予算について ・2012年度自己点検・年報について ・2013年度天使大学・北海道薬科大学連携公開講座進捗状況について ・2013年度天使大学・北海道薬科大学連携公開講座実施・報告について ・2004～2012年度に本学で開催した講演会および公開講座について ・2013年度夕張地域医療体験について ・2014年度天使大学・北海道薬科大学連携公開講座の実施案について ・平成26年度道民カレッジ連携講座前期分申込、名義後援願について ・2013年度東区4者連携事業について ・2013年度東区健康づくり公開リレー講座実施・報告について ・2013年度東区役所との連携事業活動報告書の提出について ・2014年度予算ヒアリングについて ・その他 	

2013年度 就職委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：相内泰三 委員：佐藤昇子、草薙美穂、久保ちづる、百々瀬いづみ（前期：島 明子） 計5名</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>11回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2013年度活動計画の確認について ・2013年度役割分担について ・2013年度就職ガイダンスの確認について ・就職開拓グッズ作成の確認について ・事務処理の確認 ・出張関連 ・卒後教育について ・就職相談室ニュースについて ・2013年度後期就職ガイダンスの業者について ・就職開拓グッズ「就職パンフレット」の作成について ・卒業生向けガイダンスの反省 ・職試験対策について ・就職支援アンケート内容について ・北海道求人票 NAVI の検討について ・2014年度ガイダンス提案 ・2013年度末に実施予定の就職講座について ・就職委員会予算ヒアリングの結果及び検討事項 ・2014年度の就職ガイダンスの日程案及び新規ガイダンス提案 <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職相談員の交代について ・2013年度予算についての確認 ・民間・公務員採用試験制度変更について ・2012年度卒業生就職状況について ・就職礼状について ・就職相談室報告及び2012年度卒業生就職状況 ・私大協北海道支部就職研究協議会会議出席報告 ・就職ガイダンスの実施報告 ・2012年度就職委員会年報校正報告 ・平成25年度全国就職指導ガイダンス参加報告について 	

- ・就職開拓グッズ「就職リーフレット“job search”」の完成について
- ・第24回就職フォーラムの参加報告
- ・就職相談室報告及び2013年度卒業予定者内定状況
- ・就職部課長相当者会議参加報告
- ・第24回就職フォーラム参加報告
- ・2013年度公務員試験結果報告
- ・就職指導研究協議会参加報告
- ・学生の態度について
- ・有料就職対策講座の申込み状況報告

2013年度 教職課程委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：伊藤 進 委 員：山部秀子・相内泰三・百々瀬いづみ・岩渕絵里子 計5名</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>8回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> 教職課程修了判定について 次年度栄養教育実習履修判定について 新入生オリエンテーションの評価について 年報原稿作成について 2014年度学事暦について 2014年度教職課程科目担当者について 2014年度非常勤講師について 2014年度特別講師について 2014年度教職課程履修の手引きについて 2014年度新入生オリエンテーション担当者について 2014年度履修相談の担当者について 2014年度教員免許更新講習について 	

2013年度 研究倫理委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：堀井泰明 委員：園生陽子、大久保岩男、荃津智子、武藏学、鈴木純子 計6名</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>8回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書類提出締切日、委員会開催日について ・研究審査申請書審査について（審査件数 25 件） ・研究倫理委員会のメールアドレス新規作成について ・委員会構成メンバーの外部委員導入について <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「利益相反自己申告書」の説明会開催について ・栄養学科卒業研究に関わる研究審査について（審査件数 5 件） 	

2013年度 キャンパス・ハラスメント対策委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：谷井康子 委員：山部秀子、伊藤進、本宿美砂子、佐保末男、平野敦子 計6名</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>8回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2013年度活動方針・活動内容について ・キャンパス・ハラスメント実態調査アンケートについて ・キャンパス・ハラスメント申込書(申立書)について ・講演会の開催について ・ハラスメント申立時の手続きについて ・2014年度活動計画と予算について ・2013年度活動報告について <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2012年度活動報告 ・学生委員の募集およびガイダンスの実施について ・講演会のアンケート結果について ・2013年度学生委員について 	

Ⅳ. 図書館の利用状況

2013年度入館者統計(人数)

学科・学年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
看護学科	1,568	1,947	2,270	2,018	1,218	1,118	1,735	1,568	941	1,052	397	79	15,911
栄養学科	861	909	794	1,314	278	324	616	598	369	632	295	210	7,200
助産研究科	152	129	84	36	67	44	91	89	30	18	30	21	791
看護学専攻	42	53	42	32	28	23	23	20	36	29	26	31	385
栄養管理学 専攻	1	2	6	12	3	4	14	6	2	6	3	3	62
科目等履修生	1	3	1	3	3	0	3	0	2	0	0	0	16
教職員	222	200	172	183	148	171	220	178	120	130	102	99	1,945
学外者	45	60	57	70	45	43	49	43	14	32	23	16	497
合計	2,892	3,303	3,426	3,668	1,790	1,727	2,751	2,502	1,514	1,899	876	459	26,807

2013年度図書・視聴覚資料貸出統計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
看護学科	889	1,037	1,358	888	1,047	1,186	1,435	1,012	682	366	231	86	10,217
栄養学科	404	565	510	653	226	206	476	466	235	135	108	49	4,033
助産研究科	198	196	138	76	102	60	128	174	68	34	35	46	1,255
看護学専攻	84	111	64	64	46	35	61	33	47	59	43	41	688
栄養管理学 専攻	9	12	19	21	21	24	43	25	25	17	29	19	264
科目等履修生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
教職員	193	154	152	163	136	162	256	212	142	149	138	89	1,946
学外者	3	16	3	3	1	5	7	3	3	9	6	0	59
合計	1,780	2,091	2,244	1,868	1,579	1,678	2,406	1,925	1,202	769	590	330	18,462

XV. 情報処理室の利用状況

年間利用状況

学科・学年 室	看護学科				看護 小計	栄養学科				栄養 小計	各室 計
	1年	2年	3年	4年		1年	2年	3年	4年		
4301室(日中)	1,304	1,064	2,205	1,989	6,562	968	3,471	7,281	2,881	14,601	21,163
4301室(夜間)	104	56	218	161	539	204	150	461	141	956	1,495
4302室(日中)	5,533	2,415	2,740	1,995	12,683	5,032	3,363	2,459	2,361	13,215	25,898
4302室(夜間)	563	75	307	228	1,173	252	167	163	221	803	1,976
総計	7,504	3,610	5,470	4,373	20,957	6,456	7,151	10,364	5,604	29,575	50,532

月別学科学年利用状況

学科・学年 月	看護学科				看護 小計	栄養学科				栄養 小計	各室 計
	1年	2年	3年	4年		1年	2年	3年	4年		
4	727	491	258	592	2,068	368	575	1,217	635	2,795	4,863
5	1,292	657	555	550	3,054	1,155	845	1,570	686	4,256	7,310
6	1,017	694	735	431	2,877	914	779	1,430	571	3,694	6,571
7	1,238	584	733	359	2,914	1,079	888	1,155	714	3,836	6,750
8	64	54	178	355	651	90	42	130	394	656	1,307
9	393	40	233	318	984	319	293	984	459	2,055	3,039
10	839	259	229	378	1,705	776	536	1,178	638	3,128	4,833
11	782	278	806	771	2,637	770	1,245	508	690	3,213	5,850
12	582	188	811	505	2,086	340	961	1,499	580	3,380	5,466
1	543	351	834	71	1,799	590	789	456	97	1,932	3,731
2	23	9	82	8	122	28	188	131	71	418	540
3	4	5	16	35	60	27	10	106	69	212	272
総計	7,504	3,610	5,470	4,373	20,957	6,456	7,151	10,364	5,604	29,575	50,532

XII. 施設・設備の状況

大学設置基準との対比

(単位：㎡)

	本学の現有面積	大学設置基準面積	大学設置基準との差 (基準外を除く)
校地面積	30,390	6,910	23,550
校舎面積	14,124	6,402	7,722

校舎内訳

	建設年	経過年数	面積(㎡)	備考
1号館	1976 (S51)	35	937.76	2階建
2号館	1995 (H 7)	16	707.43	2階建 (耐震構造)
3号館	1963 (S38)	48	1,977.01	3階建 (耐震補強済)
4号館	1971 (S46)	40	2,429.06	3階建 (耐震補強済)
5号館	1980 (S55)	31	396.27	2階建
6号館	2000 (H12)	11	2,674.91	6階建 (耐震構造)
7号館	2002 (H14)	9	2,330.13	4階建 (耐震構造)
8号館	2004 (H 7)	7	1,855.69	4階建 (耐震構造)
体育館	1976 (S51)	35	736.52	
中沼グラウンド更衣室	1992 (H 4)	19	79.38	平屋建
計	—	—	14,124.16	

学部・大学院研究科ごとの講義室、演習室等の面積・規模

学部・研究科	講義室・演習室・ 学生学習室等	室数	総面積 (㎡)	専用・ 共用の 別	収容 人員 (総数)	学生総 数	在学生1 人当り面 積(㎡)	備考
看護栄養学部	講義室	12	1,519	共用	1,223	754	2.01	看護栄養学研究科と 共用
	演習室	12	382	共用	221	805	0.52	大学院と共用
	学生学習室	2	288	共用	160	754	0.38	
看護栄養学研究科	講義室	/	/	/	/	/	/	
	学生学習室	2	272	共用	88	11	24.72	助産研究科と共用
助産研究科	講義室	2	227	専用	135	51	4.45	
	学生学習室	1	246	共用	82	62	3.96	看護栄養学研究科と 共用
体育館 (講堂)		1	737	/	/	/	/	

学部 of 学生用実験・実習室の面積・規模

分類	室名	収容人数	面積(m ²)	1人当り面積(m ²)
実験・実習室 (看護学科)	第1看護実習室	100	346	3.46
	第2看護実習室	10	41	4.10
	第3看護実習室	20	46	2.30
	第4看護実習室	10	23	2.30
	第5看護実習室	10	27	2.70
実験・実習室 (栄養学科)	理化学実験室	60	223	3.72
	生理学実験室・微生物学実験室	65	205	3.15
	動物実験室	5	6	1.20
	給食経営管理自習室・実習食堂	130	350	2.69
	第2臨床栄養実習室	60	386	6.43
	官能検査室	10	30	3.00
	食品・調理実験実習室(準備室含む)	60	257	4.28
	第1カウンセリング室	3	8	2.67
	第2カウンセリング室	3	9	3.00
	栄養教育実習室	60	155	2.58
	第1臨床栄養実習室	15	45	3.00
実験・実習室(共通)	和室	30	69	6.90
情報処理室	第1情報処理室	60	113	1.88
	第2情報処理室	56	138	2.46
計		767	2,477	3.32

大学院 of 学生用実験・実習室の面積・規模

分類	室数	総面積(m ²)	収容人数(総数)	収容人員1人当りの面積(m ²)	使用研究科等	備考
実習室	19	2,477	747	3.32	看護栄養学研究科	看護栄養学部と共用
実習室	1	174	40	4.35	助産研究科	
計	20	2,651	787	3.37	—	—

Ⅷ. 財務状況

貸借対照表関係の財務比率表

(%)

	比率	算式	2013年度	全国平均
1	自己資金構成比率	$\frac{\text{自己資産}}{\text{総資産}}$	83.1	85.3
2	消費収支差額構成比率	$\frac{\text{消費収支差額}}{\text{総資産}}$	4.2	△15.4
3	基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	99.6	96.9
4	固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資金}}$	85.8	100.5
5	固定長期適合率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資金+固定負債}}$	81.2	91.1
6	固定資産構成比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	71.7	85.8
7	有形固定資産構成比率	$\frac{\text{有形固定資産}}{\text{総資産}}$	40.5	59.0
8	その他の固定資産構成比率	$\frac{\text{その他の固定資産}}{\text{総資産}}$	31.2	26.8
9	流動資産構成比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$	28.3	14.2
10	減価償却比率	$\frac{\text{減価償却累計額(図書を除く)}}{\text{減価償却資産取得価格(図書を除く)}}$	52.0	49.5
11	※ 内部留保資産比率	$\frac{\text{内部留保資産}}{\text{総資産}}$	43.0	26.4
12	運用資産余裕比率 (単位:年)	$\frac{\text{運用資産}-\text{外部負債}}{\text{消費支出}}$	2.5	1.5
13	流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	242.2	242.8
14	前受金保有率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	257.4	357.2
15	退職給与引当預金率	$\frac{\text{退職給与引当特定預金(資産)}}{\text{退職給与引当金}}$	83.1	57.4
16	固定負債構成比率	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総資産}}$	4.8	8.8
17	流動負債構成比率	$\frac{\text{流動負債}}{\text{総資産}}$	11.7	5.9
18	総負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	16.4	14.7
19	負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{自己資金}}$	19.7	17.2

※内部留保資産=その他の固定資産 + 流動資産 - 総負債

(注)「全国平均」は日本私立学校・共済事業団の「今日の私学財政」2013年度版による。

消費収支計算書関係の財務比率表

(%)

	比率	算式	2012年度	全国平均
1	帰属収支差額比率	$\frac{\text{帰属収入} - \text{消費支出}}{\text{帰属収入}}$	10.5	5.2
2	学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{帰属収入}}$	77.5	52.6
3	寄付金比率	$\frac{\text{寄付金}}{\text{帰属収入}}$	0.8	1.9
4	補助金比率	$\frac{\text{補助金}}{\text{帰属収入}}$	15.2	10.3
5	人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{帰属収入}}$	60.5	49.5
6	教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{帰属収入}}$	24.1	36.1
7	管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{帰属収入}}$	4.7	7.2
8	借入金等利息比率	$\frac{\text{借入金等利息}}{\text{帰属収入}}$	0.0	0.3
9	基本金組入率	$\frac{\text{基本金組入額}}{\text{帰属収入}}$	9.6	9.9
10	減価償却費比率	$\frac{\text{減価償却額}}{\text{消費支出}}$	7.7	10.0
11	人件費依存率	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	78.0	94.0
12	消費収支比率	$\frac{\text{消費支出}}{\text{消費収入}}$	99.0	105.2

編集後記：

天使大学看護栄養学部年報 - 自己点検・評価報告書 - 2013 年度版が発行となりました。
年度末評価の一環としての各委員会活動評価報告および意見交換の場も 2013 年度末の 3 月には 2 回目を実施し、大学における点検評価を教職員間で可視化するシステムづくりの一つとして定着することを目指しています。年報は、その内容をまとめたものとして教職員の皆様には大学全体における次への課題を明らかにするものとして利用していただければと考えております。今後も教職員の皆様と共に考え、そして共に取り組む自己点検評価活動でありたいと思います。大学の自己点検評価活動についてのご協力、ご理解を今後どうぞよろしく願いいたします。

2014 年 6 月

自己点検評価委員会委員長 荃津 智子

2014 年度 自己点検評価委員会

委員長：荃津 智子（看護学科）

委員：大久保岩男（看護栄養学研究科長）

園生 陽子（助産研究科長）

前田 明子（看護学科長）

山部 秀子（栄養学科長）

川口 雄一（教養教育科長）

佐保 末男（事務局長）

金澤 康子（栄養学科）

総務課：高山 美香

2013年度

天使大学 看護栄養学部

年 報

—自己点検・評価報告書—

2014年6月発行

自己点検評価委員会

天使大学

〒065-0013 北海道札幌市東区北13条東3丁目1番30号

TEL 011-741-1051 FAX 011-741-1077

<http://www.tenshi.ac.jp>
